

東京データプラットフォーム協議会 第3回推進会議 事務局資料

令和3年11月25日

匿名投票ツール「Mentimeter（メンティミーター）」のご説明

本推進会議では、スマートフォン等を通し、皆様からの投票を実施

Mentimeter機能の特徴

容易な 参加方法

- お手持のスマートフォン等でQRコードを読み取るだけで、**ログイン不要で参加可能**
(スマートフォン・PC等でコードを入力することでも参加可能)

リアルタイム 回答表示

- お手持のデバイスで質問に回答すると、ブラウザ上に**リアルタイムで結果を反映**



匿名回答

- 皆様の回答は**完全匿名**（事務局も回答者は把握できません）

※会議中何度かご質問をいたしますので、回答画面は会議終了までそのままお願いいたします

【Mentimeter®】回答はできましたか？

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください

Mentimeterによる回答は、会議でご案内したタイミングでのみ可能です

(※全て匿名)



※または、下記URLへアクセスし
コードを入力してご参加ください

URL : <https://www.menti.com/zdr27pa546>

コード : 8726 5017

A screenshot of the Mentimeter poll entry interface. At the top is the Mentimeter logo, followed by the text 'コードを入力してください'. Below this is a text input field containing the code '12345678'. A blue button labeled '参加する' is centered below the input field. At the bottom, there is a small note: 'コードは目の前の画面にあります'.

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

1. 開会の挨拶

東京都 副知事 宮坂 学

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

【振り返り】委員からいただいたご意見（1/2）

	主なご意見	対応方針
TDPFの 進め方・ 事業計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 女性・子供へのニーズヒアリングや、海外のエンジニアの受け入れなど、ダイバーシティに配慮してまちづくり・データ利活用をすべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業ビジョンに考え方を反映し、各WGのサービス実装、他ユースケース検討において当該視点を取り入れる
	<ul style="list-style-type: none"> ■ After COVID-19の将来における世の中のスタンダード・Well-beingを見据え、デジタルの実装を考えるべき 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際競争において遅れを取らないために、利活用、ガバナンス、プラットフォーム、サービス等の様々な議論を同時に進めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティ、ルール、基盤、ユースケース等、データ利活用推進に必要な要素を協議会や関連事業を通じ一体で取組を進めていく
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 様々なテーマを同時にかつスムーズに議論するにあたって、長期戦略をもとに、細部を詰めすぎないようなやり方を検討すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業計画（案）において推進計画を策定し、中長期の戦略に基づき各事業を進めていく
人材育成/ 採用	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ利活用を進めるためには、官民双方の個人情報の取り扱い・個人情報保護に関するリテラシー向上を目指すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポリシー事業から協議会へのフィードバックを通じ、リテラシー向上にもつなげていく
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材が入れ替わり知見の蓄積が難しい中で、組織において共通の文化・了解事項を作ることが運営の肝である 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFのビジョンやミッションをしっかりと定め、コミュニティ内で共有していく
アイデアソン	<ul style="list-style-type: none"> ■ アイデアの実用化を急ぐのではなく、アイデアをシェアし、抽象度の高い知識として流通させることを目的とすべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ イベントの企画時に、アイデアシェアの場となる運営を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ アイデアソンにて防災データの使い方を検討するだけでなく防災訓練など実践の場において問題点を把握すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防災データWGの取組において参考とする（防災訓練の場での実証など）

【振り返り】委員からいただいたご意見（2/2）

	主なご意見	対応方針
データ 利活用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既になされてきた議論(レセプトデータ等)におけるスタックポイント等を事務局側で整理し、TDPFとして果たす役割を考慮したうえで、ハンドリングしながら議論を進めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディ事業、WG活動はこれまで議論された事項を都が反映・チェックしながら進める。また、得られた成果をトラストやポリシー等の論点に反映していく
	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ提供者に、応援の意味も含めてデータを利用したことに対するフィードバックをするべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ レーティング機能や、提供者・利用者間のコミュニケーション機能を今後検討する
	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ利用申請から承認までのリードタイムの長さ・セキュリティ要件の高さを改善する環境整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ流通プラットフォーム事業の業務設計において検討していく
	<ul style="list-style-type: none"> ■ WGの現状課題の一つとしてプライバシーリスクを検討すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポリシー案の改訂と連動して検討
コミュニティ 形成/関係者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティ・TDPFからの離脱率・離脱ポイントをUI/UX含めて考えるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今後のコミュニティの離脱状況等ウォッチしながら、協議会運営・会員設計等におけるUI/UXの検討を随時行っていく
	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの連携には、まず分野を超えて人がつながるネットワークコミュニティが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ネットワーク・コミュニティの重要性を踏まえ、協議会やWG等の取組を推進中
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政データの把握のため区市町村との連携が重要である 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政データ整備事業にて取組中、協議会での活動を通じた連携を目指す

【振り返り】参加者からいただいたご意見

分類	主なご意見	対応方針
TDPFの 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ どのデータの活用により、どのように市民生活がよくなるのか、WGにおいては「誰のための価値」を創造しようと考えているのか示してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユースケース創出を通じて、どのように都民のQOL向上や、都内事業者の支援に繋がるのか示せるよう取組を進める
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京都がすべきこと(例:国・関係自治体との協体制づくり)と他自治体でもできることを仕分けて取組を進めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ご指摘も踏まえ、注力分野やユースケースの具体化を検討・取組中
	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFを構築すること自体が目的化しないよう留意すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPF構築と同時に、データ利活用のコミュニティやユースケース、ルール作りなど多角的に取組を進める
	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの最適な扱いは必ず変化していくので、絶対これが世界標準というのは現実的には難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポリシーやデータ連携基盤については、最新の動向を踏まえて運用ルール等を更新
コミュニティ 形成/関係者 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都内事業者の参画ステップを具体的に提示し、双方向・参加者間の交流など多様なメンバーが持続的に関わることで共創が生まれる仕組みやサポートをすべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインセミナー等のイベントも活用し、TDPFのコミュニティ育成やユースケース検討を具体化する中で、都内事業者との連携を進めていく

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

令和2年度

令和3年度

令和4年度 以降

事業推進PJ

利用者募集

ユースケース 創出

ポリシー 整備・運用

システム 基盤構築

データ整備

関連PJ

準備会

・事業範囲、WGの検討

WGの設置

・民間事業者等と議論

データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る
ポリシー案1.0策定

3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

令和3年度

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

協議会

・事業内容、事業計画(案)等の検討
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

デジタルツイン実現プロジェクト

・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

TDPF
運営組織
設立

【ケーススタディ事業】概要・イベント

11月15日に中間報告及び実証キックオフイベントを開催
令和4年1月下旬まで実証実施

事業概要

- TDPFの継続利用に繋がるケーススタディプロジェクトを3件採択し、利活用事例として積極的に広報

カテゴリー	事業者	プロジェクト名
①混雑情報活用		都内飲食店における「混雑・予約データ」等の活用による自動集客化サービスへの取組
②庁内データ又はオープンデータ活用		行政データの積極的な活用による「地域プロファイリング」の創生
③民間データ活用		民間データを基軸にした「駅利用圏ポテンシャルマップ」の展開

中間報告イベント結果

■ 主な内容

- プロジェクト進捗報告
- 実証サービス紹介
- パネルディスカッション

■ 参加者

51社・100名

■ 主なコメント・反応

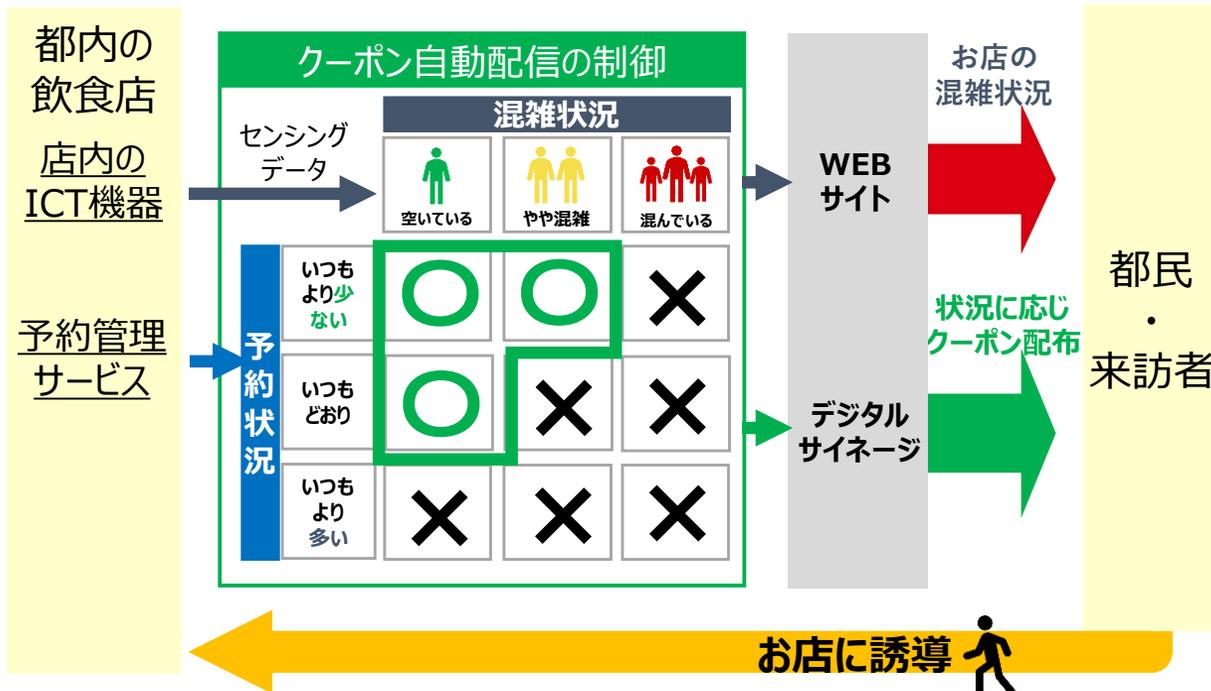
- 有識者からのアドバイスにより、プッシュ型配信サービスへの展開等、今後に向けたヒントが掴めた
- どのようなプライバシーポリシーで取組を行っているか知りたい



混雑状況と予約情報を組み合わせて、飲食店舗における真の混雑状況を把握 その情報を活用した集客手法を確立

ケーススタディ事業の概要

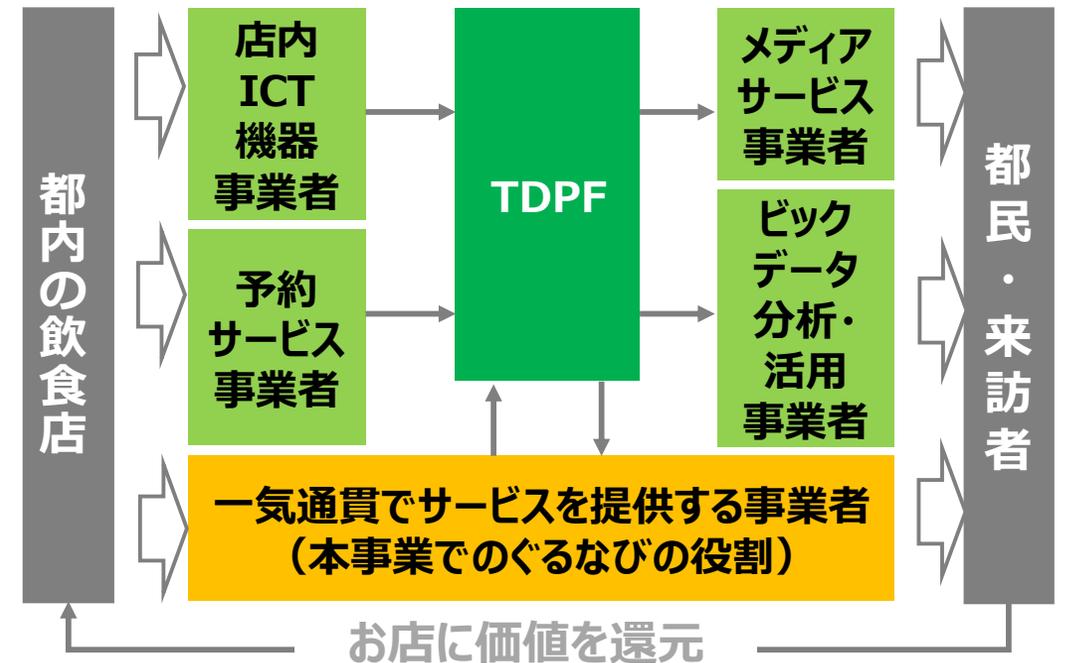
- 参加を希望する飲食店の店内にAIカメラ（※）やIoTセンサーを設置することで、飲食店のリアルな状況をもとに**実際の集客効果を得るまでの検証**を実施
- **3密回避と飲食店の収益確保**に貢献



※人物の位置・形を自動判別し、「事前に撮影した空の店内画像」と「人型」を合成。元となった画像データはカメラ撮影後、即座に自動的に加工されて廃棄。本取り扱いについては、ポスター等を通じて店内に掲示

TDPFへの展開イメージ

- 飲食店にICT機器やサービスを提供する事業者が保有するデータが1か所に集まることで、新しいサービスの実現を促進することができると想定



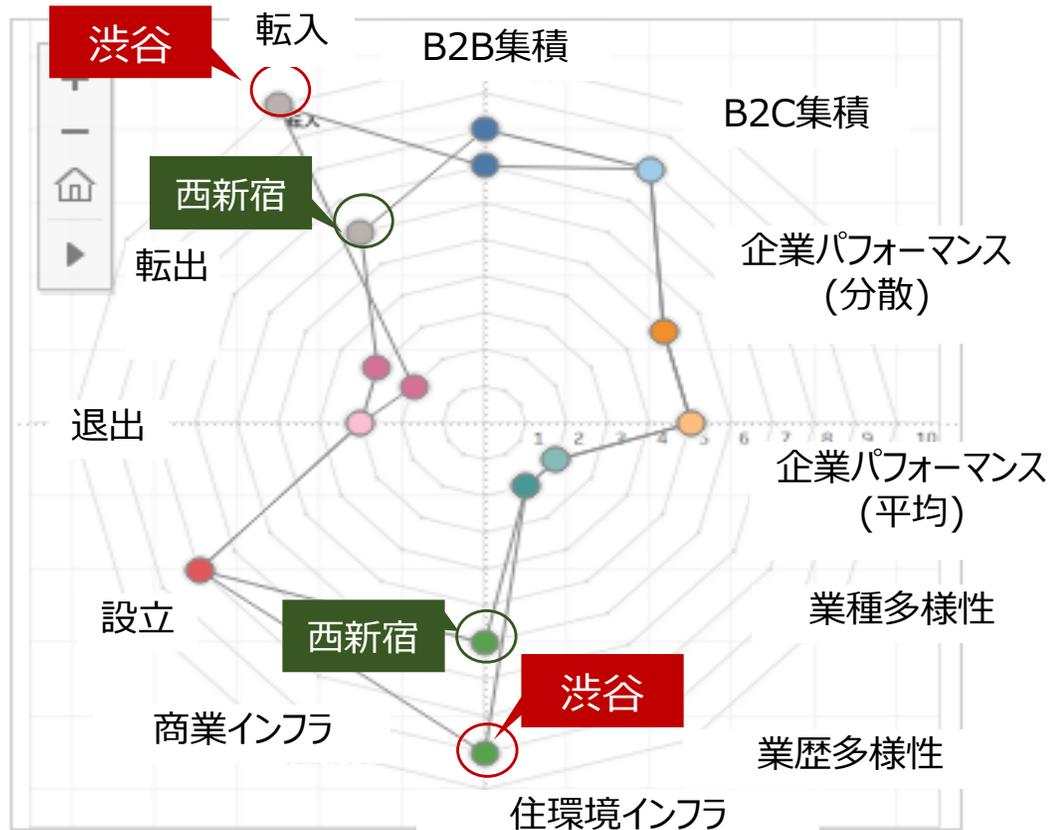
飲食店にとって最大の価値である「集客」の効果を検証



土地/不動産に関わるデータに経済学的知見を組み合わせ、「地域プロファイリング」として表現
民間事業者が自社に合った事業拠点を選定する際に必要となる情報等を提供

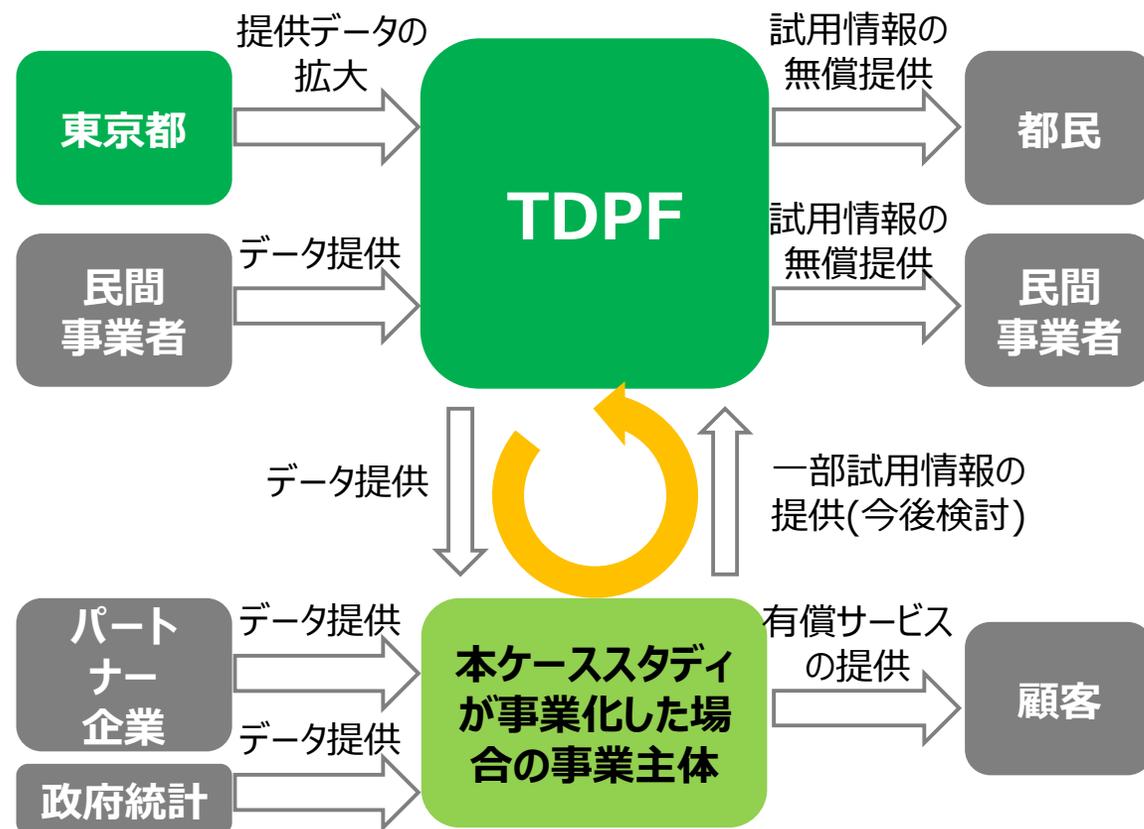
プロファイリングのイメージ

12指標 - レーダーチャート



TDPFへの展開イメージ

■ 利用可能な行政データが増える程役立つ情報が拡大



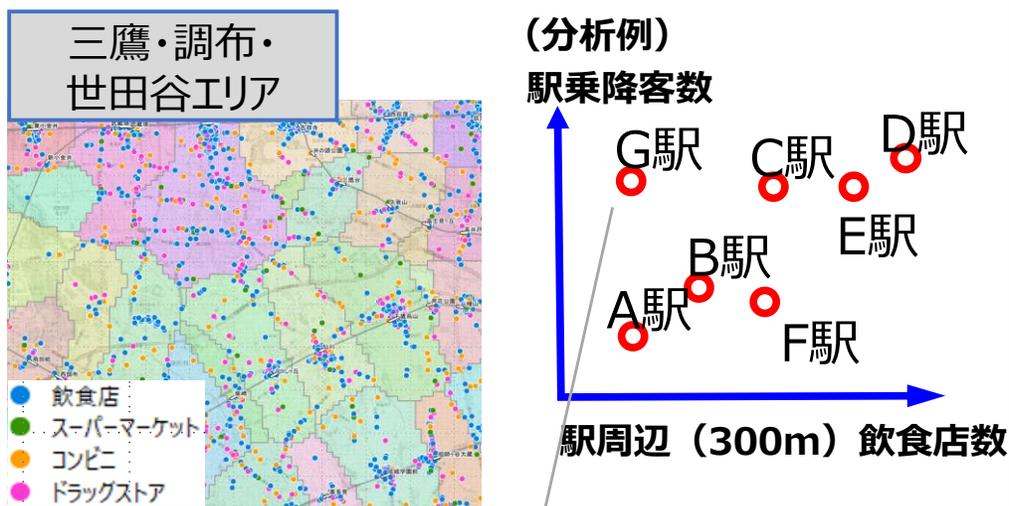


民間データを基軸にした「駅利用圏ポテンシャルマップ」を展開 データ分析結果を用いた民間事業者ヒアリングにより、マップの有効性を確認 ケーススタディ事業の概要

概要

駅を起点とするエリアに着目し、年齢別の人の動きに関するデータを中心に分析。出店計画などに活用できるよう住民・来街者の駅利用圏の実態を可視化

分析のイメージ

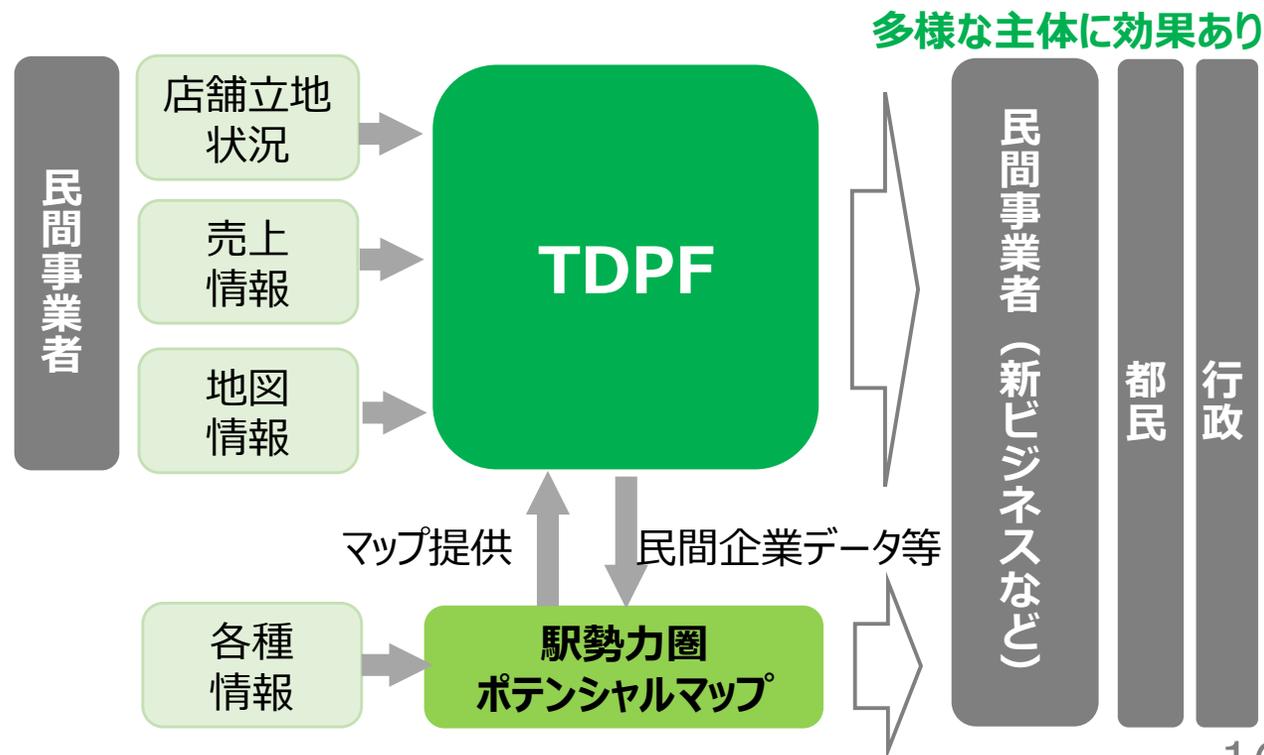


乗降客数に対し飲食店等の立地が少ない駅

ヒアリングを実施し、マップの有効性確認

TDPFへの展開イメージ

- 将来的にはTDPFを介してデータ連携・共有を図りながら、駅利用圏域ポテンシャルマップに新たなレイヤーを組み合わせ、新たなサービスを展開



【ポリシー】全体概要・取組方針

昨年度策定したポリシー案とTDPF関連事業を照合し、必要に応じて改訂

令和2年度ポリシー案

東京データプラットフォーム
ポリシー構成

東京データプラットフォーム
プライバシー
ステートメント

東京データプラットフォーム
規約

東京データプラットフォーム
データガバナンス指針

東京データプラットフォーム
コンプライアンス指針

東京データプラットフォーム
情報セキュリティ
ポリシー

令和3年度以降

協議会
ケース
スタディ等

「協議会」「ケーススタディ事業」「行政データ整備」等を通じて事業内容・組織体制等の詳細を策定

- TDPF事業計画（案）・内容詳細策定、ユースケースの具体化
- データ連携基盤の要件定義のとりまとめ、データ連携基盤プロトタイプ構築
- 都内区市町村のデータ整備事業

検討結果等を共有

ポリシー案
策定

事業内容・ユースケース等に基づいたポリシー案に改訂

- 事業内容・ユースケースの具体化に伴い修正・追加が必要となる条項案の改訂（例）
パーソナルデータの利用目的詳細化、データ提供者・利用者に求める事項やTDPFが関与する範囲の詳細化、責任・免責・罰則の詳細化 等

【データ連携基盤構築事業】概要

3つのコンセプトのもと要件を検討

TDPF運営組織設立後の速やかなサービス提供につなげる

コンセプト

大きなデータベースは作らない

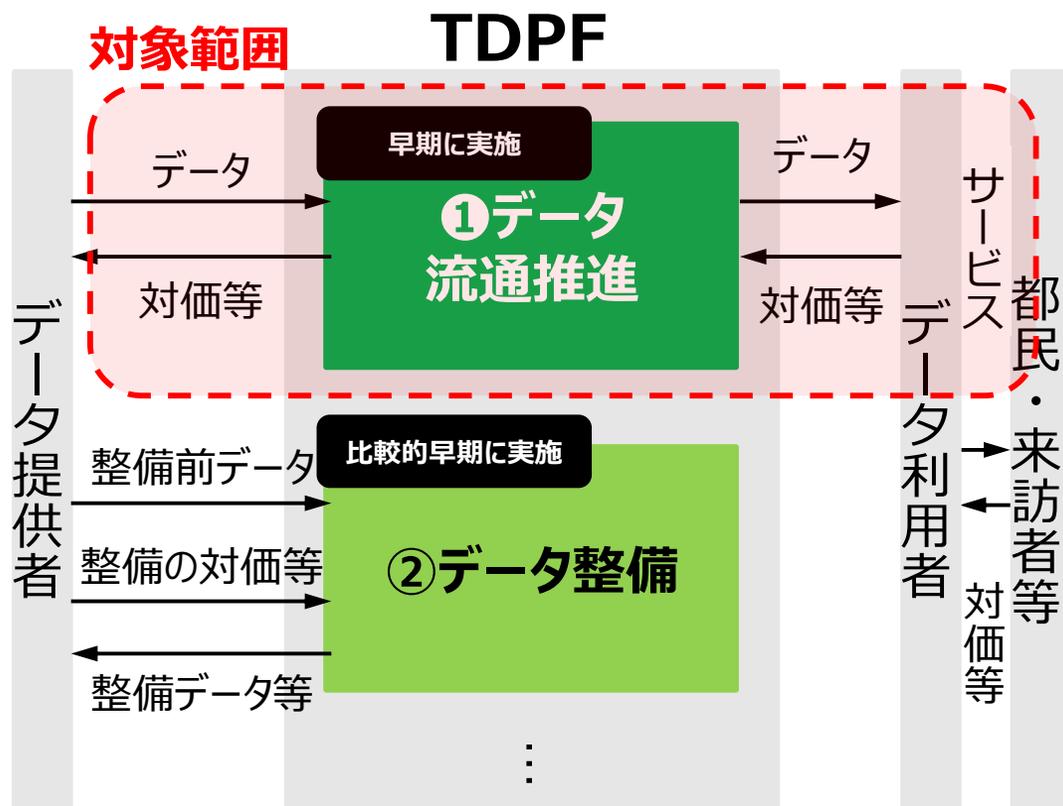
- データを貯めるのではなく、流通させる連携基盤
- 国や関連団体と同期、他PFとの相互運用性の確保

リーンスタートと拡張性

- 早計に最終形を定義せず、必要な機能からスタート
- マイクロサービスアーキテクチャ※で構成
(※ 小さな独立した部品の集まり)

トラストの確保

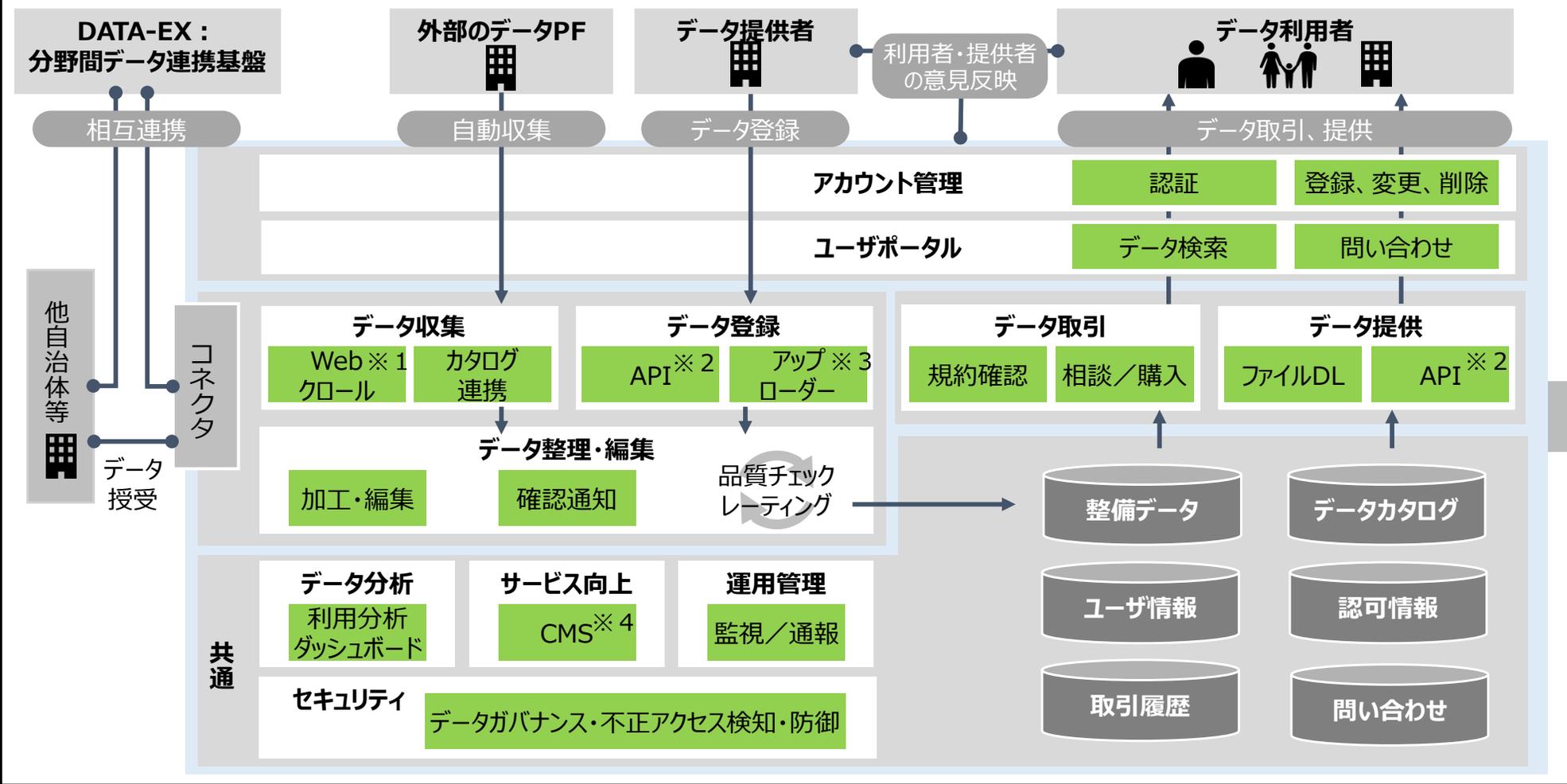
- データのトラストと利用者のトラストに対して連携基盤が果たすべき役割の見極め



【データ連携基盤構築事業】取組方針

必要な機能を見極め、ベンダーフリーな要件定義書として整備

機能概念図（検討中）



令和4年3月

ベンダーフリーな要件定義書

オープンデータとして公開予定

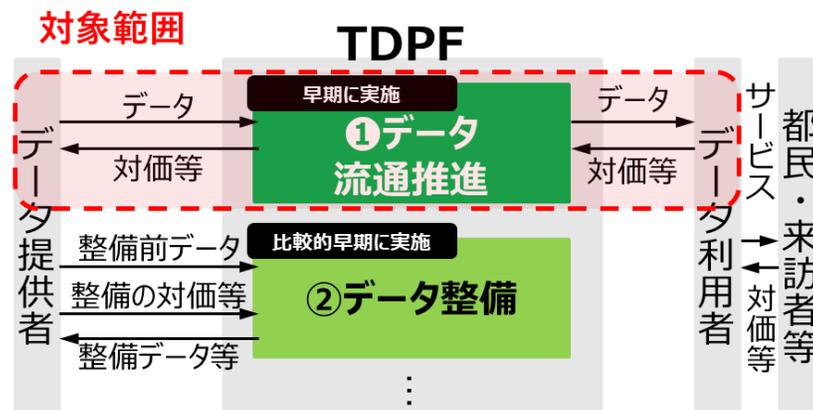
※ 1 インターネット上の情報を自動収集する仕組み ※ 2 Application Programming Interface : ネットワーク経由でデータ登録・提供を行うアプリケーションインターフェース
※ 3 ユーザポータルからデータを登録する仕組み ※ 4 Content Management System : ユーザポータルを構築・編集・更新するためのソフトウェア

【行政データ整備モデル事業】概要

対象とする行政データの整備モデル候補を、アンケート等を通して選定

事業目的

- 自治体のデータ保有に関する課題認識や、データの質向上
- 機械判読可能な形式へのデータ整備手法をモデル化し、TDPFを通じた区市町村のデータ利活用を促進



進捗



アンケート結果とヒアリング内容を踏まえ、データ整備モデルを絞り込み

下記データ（緑色）の整備モデルのマニュアル化を進める

地域・年齢別人口

介護サービス事業所の
一覧

医療機関の一覧

食品等
営業許可・届出一覧

イベントや工事に伴う
交通規制

行政情報公開請求の
処理状況
(統計処理したデータ)

バリアフリートイレ情報

ハザードマップ

対象整備モデルデータ

【行政データ整備モデル事業】整備モデル

自治体のデータ整備の取組状況に応じた、整備モデルのマニュアル化を検討

整備モデル	対象データ	マニュアルのターゲット
整備モデル① 画像・PDFから変換	地域・年齢別人口	【データ整備にこれから取り組む自治体】 • 画像やPDFでしかデータが管理されていない自治体向けのマニュアル
整備モデル② エクセルデータからの変換 (緯度経度クレンジング含まず)	医療機関の一覧	【更にデータ整備を推進したい自治体】 • エクセルデータ化まではできているが、エクセルデータのフォーマットにバラつきがある自治体向けのマニュアル
	介護サービス事業所の一覧	
整備モデル③ エクセルデータからの変換 (緯度経度クレンジング含む)	医療機関の一覧	【更にデータ整備を推進したい自治体】 • エクセルデータの中で、住所等は一覧化できており、データ整備がある程度進んでいる自治体向けのマニュアル
	介護サービス事業所の一覧	
	ハザードマップ	
整備モデル④ Shapeデータから変換	バリアフリートイレ情報	【データ整備が進んでいる自治体】 • Shapeデータ等が既に存在し、データ整備が進んでいる自治体向けのマニュアル
整備モデル⑤ 複数区のデータ変換・統合	地域・年齢別人口	【データ利活用を想定したデータ形式の検討】 • 複数の自治体のオープンデータを変換・統合し、民間事業者の中で流通しやすい形式にするためのマニュアル

【Mentimeter①】データ連携基盤構築事業について

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください

Mentimeterによる回答は、会議でご案内したタイミングでのみ可能です

(※全て匿名)



※または、下記URLへアクセスし
コードを入力してご参加ください

URL : <https://www.menti.com/zdr27pa546>

コード : 8726 5017

A screenshot of the Mentimeter poll interface. At the top, the Mentimeter logo is displayed. Below it, the text 'コードを入力してください' (Please enter the code) is shown. A text input field contains the code '12345678'. A blue button labeled '参加する' (Join) is positioned below the input field. At the bottom, a small note reads 'コードは目の前の画面にあります' (The code is on the screen in front of you).

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

- 令和3年度事業の取組について
 - ケーススタディ事業
 - ポリシー事業
 - データ連携基盤構築事業
 - 行政データ整備モデル事業

- TDPFと自治体との連携について

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定



東京データプラットフォーム 事業計画（案） 概要

令和3年11月25日時点

事業計画（案）の全体像①

- ① 事業計画（案）のうち、計画の幹となるビジョン・ミッション、取組事業や推進計画案を、まず取りまとめ（本資料）
- ② 個別論点に対する詳細対応は、推進計画をベースに、準備会・推進会議の議論、各事業で得られたファクト、国の検討状況等を踏まえて、段階的に対応方針を固めていく

大項目	中項目		小項目
1ビジョン・事業の概要	1TDPFのビジョン・ミッション	推進会議では 1、2を中心に 説明	・ビジョン・ミッション
	2TDPFが担う事業		・データ戦略
	3TDPFの注力分野		・TDPFの事業概要
2推進計画	1推進計画概要		・フォーカス分野の選定、注力分野 ・TDPFの目標、推進計画策定方針 ・「スマート東京」におけるTDPFの役割・各事業の位置づけ ・推進計画概要（案）
	2推進計画詳細		・個別推進計画
3個別事業	1データライブラリ		・データライブラリ事業概要
	2データ流通プラットフォーム		・データ流通プラットフォーム事業概要
			・取扱データ／データ保有有無
			・トラストに関する取組
	3コミュニティ		・協議会WGのコミュニティ、イベント実施
			・コミュニティ活動支援機能
	4データ整備支援		・データ整備事業概要
		・サービスメニュー	

事業計画（案）の全体像②

- ① 事業計画（案）のうち、計画の幹となるビジョン・ミッション、取組事業や推進計画案を、まず取りまとめ（本資料）
- ② 個別論点に対する詳細対応は、推進計画をベースに、準備会・推進会議の議論、各事業で得られたファクト、国の検討状況等を踏まえて、段階的に対応方針を固めていく

大項目	中項目	小項目
4 会員制度／利用条件	1 TDPF利用者の考え方	・TDPF利用者の範囲
	2 会員制度	・会員制度
	3 利用条件	・利用条件
5 ポリシー	1 ポリシー諸規定	・データガバナンス指針 ・プライバシーステートメント ・コンプライアンス指針 ・規約 ・情報セキュリティポリシー
	2 アドバイザリーボード	・体制/運用
6 システム アーキテクチャ	1 システムアーキテクチャ	・必要機能、保有形態
7 組織及び運営方針	1 想定組織	・体制・要員等
	2 運営方針	・組織の運営方針
8 収支計画	1 コスト負担の考え方	・コスト負担の考え方
	2 収支計画	・TDPF事業の収支試算

1. TDPFのビジョン・事業の概要

1-1 TDPFのビジョン・ミッション（案）

ビジョン

経済発展と社会的課題の解決を両立させる「スマート東京」の実現に向け、データの流通を促進することで、民間のイノベーションを後押しし、都政の“QOS”を上げ、都民等の“QOL”を向上

ミッション

様々な人たちとともに、データとデジタル技術を活用して、社会的課題を解決
オープンな取組を通じて、安心してデータ利活用が進む社会を創造

データ戦略

様々な組織と「つながる」、データが相互に「流れる」ことで、イノベーションを後押し

また、現状に留まることなく、常に「進化する」ことへの挑戦を継続

1-1 TDPFのビジョン・ミッション ~データ戦略イメージ

国の『デジタル社会の実現に向けた重点計画』では、2025年をターゲットに施策を展開

➤ TDPFも国の動向を注視しながら、それぞれの組織と「つながる」ことを目指す

短期（～2025年）

中期（～2027年）

長期（～2030年）

課題

(2025年)
• 国のプラットフォーム実装

• 様々な分野の民間プレイヤーが参入
• センシング技術の高精度化
⇒ データ流通が活性化

• 社会全体がつながる「フルコネクテッド」の実現へ
⇒ 都民生活に密着したサービス展開が広まる

目指すべき姿

システムが分野や組織ごとに分断

フォーマットが分野ごとにバラバラ

システムの拡張性が低い

都及びTDPF運営組織が旗振り役となり、都庁内や区市町村のデータ利活用を推進

行政

民間

データを活用したイノベーションが促進され、多様なサービスの創造につながる

民間のイノベーションを後押し

つながる

流れる

進化する

1-2 TDPFが担う事業①



- | | |
|------|---|
| つながる | <ul style="list-style-type: none"> 産学官でチームを組み、多分野の知を結集させる協議会を設置 データ連携は、人と人との関係構築が基本
⇒ コミュニティ形成が重要 等 |
| 流れる | <ul style="list-style-type: none"> 紙資料から機械判読可能な形式への変換 データの品質や信頼性・安全性確保に向けた加工やルールづくり 等 |
| 進化する | <ul style="list-style-type: none"> (システム) 変化に柔軟かつ素早く対応し続けられる仕組み (データ) 更新手法の確立 (地味なことでも) やり続けることが大事 等 |

①データ流通推進

②データ整備 (必要に応じ標準化検討)

事業概要

- 様々なデータ提供者が持つデータを、データ利用者がAPI等を通じて効率的にアクセスできる環境を提供
- データの種類やデータ提供者・データ利用者の属性に応じた利用料やアクセス権限の調整等も実施
- ①を促進するために、紙データ等のデジタル化の支援や、データのクレンジング等を実施
- 状況に応じて、データ流通を促進する上で、**最低限必要な範囲での運用ルール等も適宜検討**

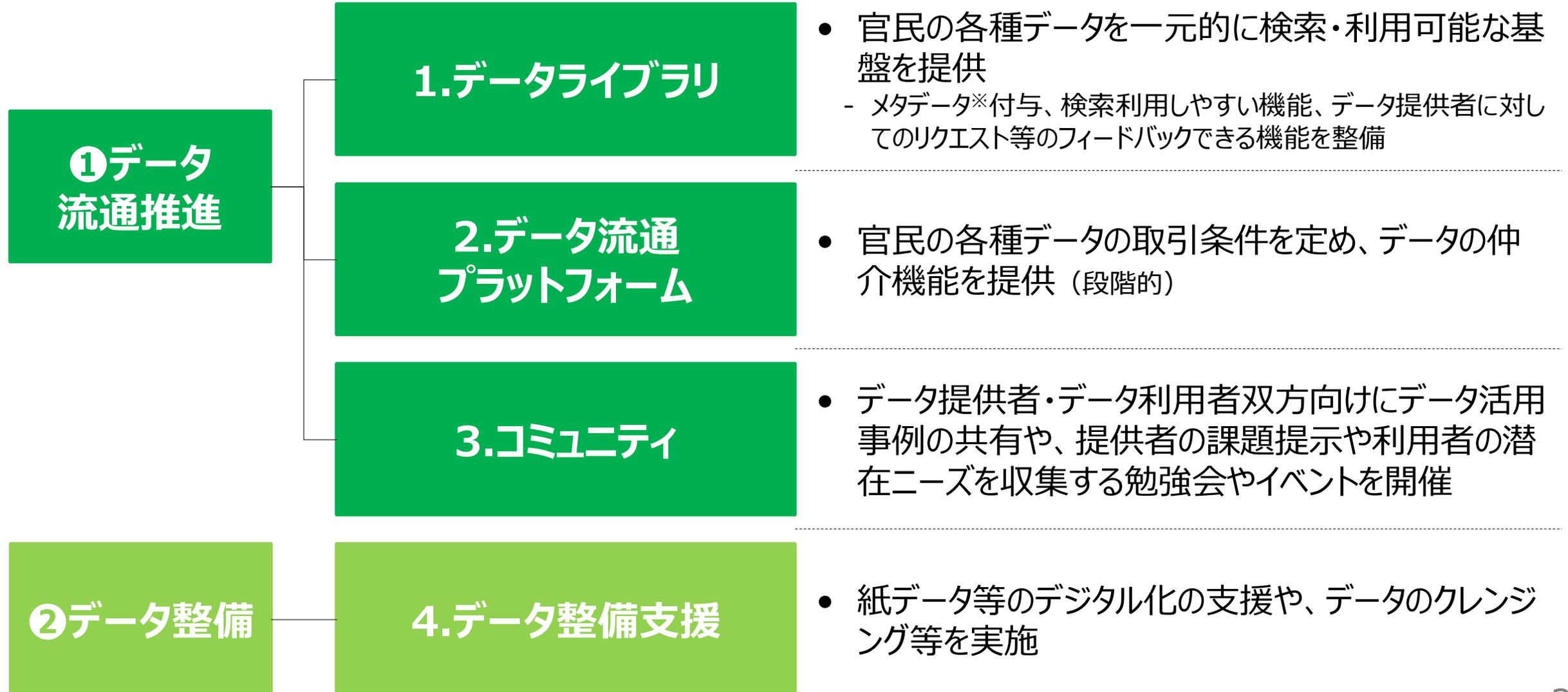
主なサービス利用者

- データ提供者、データ利用者ともに、民間企業（中小企業、スタートアップ等を含む。）、行政機関、大学、NPO等、**様々な主体を想定**
- 特に、データ提供者となる**基礎自治体やデータ整備の必要な団体**を想定

イメージ例

- 複数のデータ提供者が各自保有する混雑状況等のデータを、マップ事業者等のデータ利用者が、APIを通じて効率的にアクセスできる環境を整備
 - 既に区市町村でPDFや紙媒体等で保有しているバリアフリーや災害関連の情報等について、一定程度形式を揃えた上で、機械判読可能な形式への整備
- ・・・等

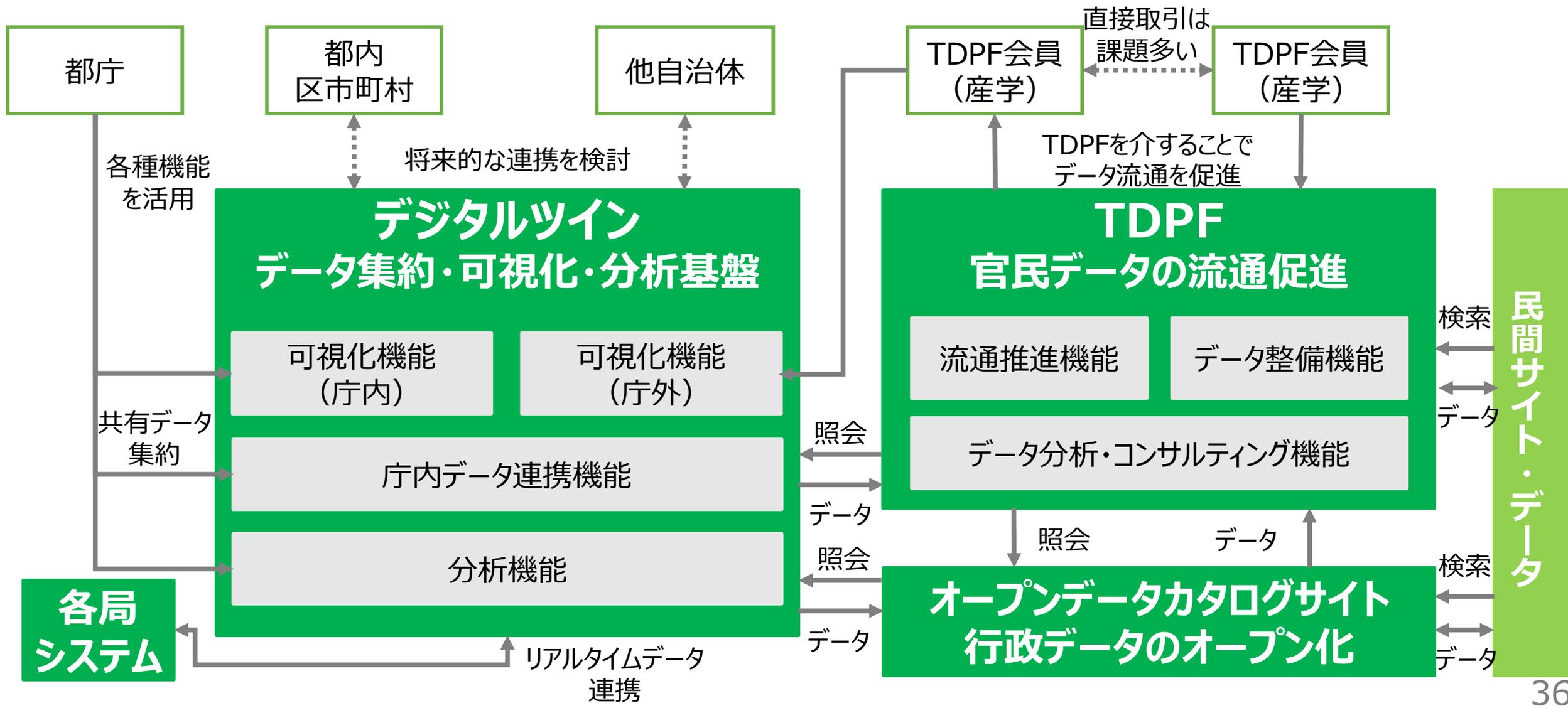
昨年度第2回準備会でいただいたご意見を踏まえ、事業内容を機能に分類・補足



※個別のデータの名称や属性等、対象となるデータに関する情報

1-2 TDPFが担う事業 ~TDPFとデジタルツインの関係図

TDPFとデジタルツインは機能分化した「データ利活用の両輪」



5つの観点で、TDPFのフォーカス分野を選定

- 1 東京都として重点的に取り組む必要があること（「未来の東京戦略」等を参照）
- 2 中央省庁や民間企業等の取組と他のデータプラットフォームとの棲み分けが明確であること（特に民間のデータ利活用が進展していない分野）
- 3 基礎自治体単位ではなく、広域自治体である東京都が取り組む必要性があること
- 4 行政の介入なくして埋まらない需給ギャップ※が相対的に大きいこと
- 5 個人情報を含まないデータで、十分な価値提供ができること

1-3 TDPFの注力分野 ~フォーカス分野選定の検討結果

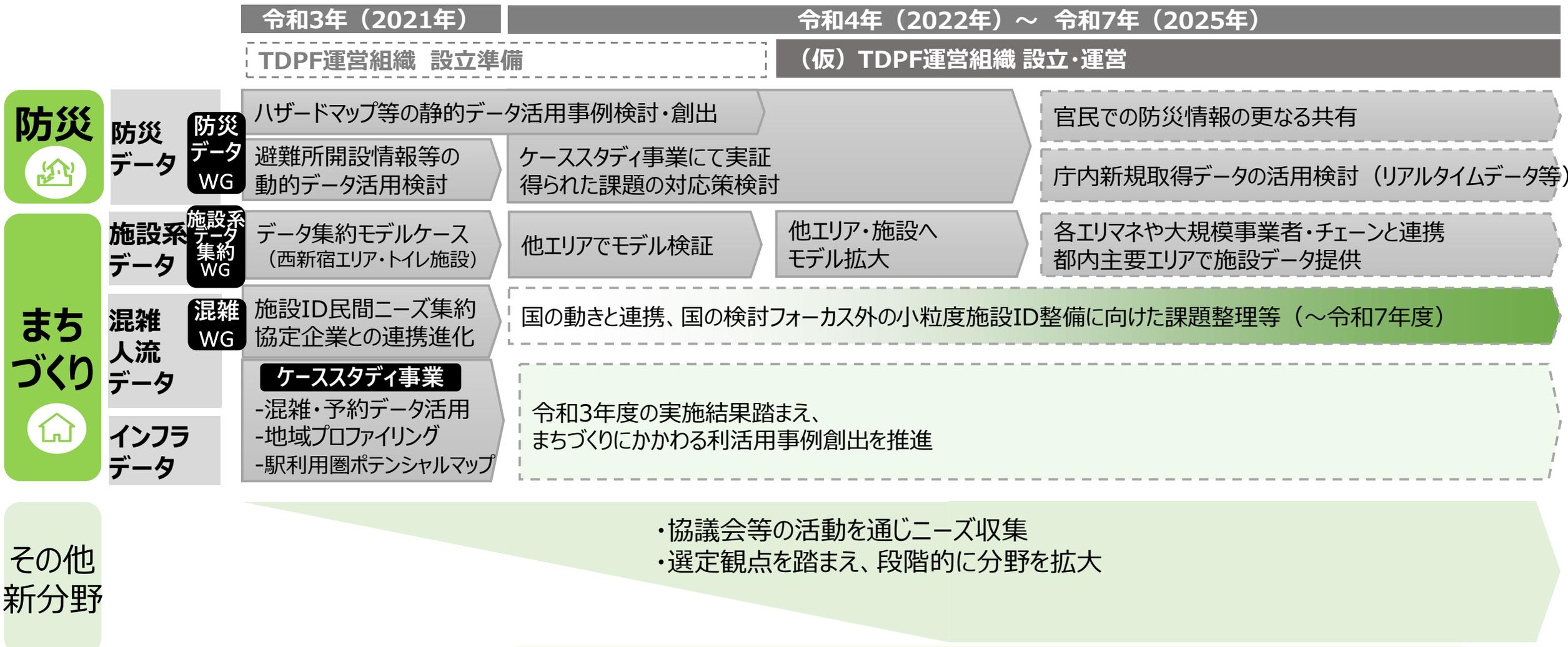
東京都として重点的に取り組むべき分野（「未来の東京戦略」等参照）より各観点を検討の結果、「防災」と「まちづくり」を現時点のフォーカス分野に選定し、取組を推進

フォーカス分野	中央省庁や民間企業の取組と重複が生じないか	広域自治体として取り組む必要があるか	行政の介入なくして埋まらない需給ギャップが相対的に大きいか	個人情報を含まないデータで、十分な価値提供ができるか
<p>防災</p> 	<p>「SIP4D」※等存在するが、民間によるデータ利活用の余地はありと想定</p>	<p>広域連携による防災への対応が重要になると想定</p>	<p>官民間でのデータ利活用ニーズあり、連携の余地あり</p>	<p>インフラ稼働情報、避難所開設情報等、個人情報を用いないデータの活用が可能</p>
<p>まちづくり</p> 	<p>NPO法人や企業等多様な事業主体との更なる連携が重要</p>	<p>基礎自治体による施設・設備・空間情報等の可視化は道半ば</p>	<p>施設・設備・空間情報等のデータは民間・自治体に散在し、一元化の余地あり</p>	<p>施設・設備・空間情報等、個人情報を用いないデータ活用が可能</p>

※ SIP4D：基盤的防災情報流通ネットワーク。内閣府総合科学技術・イノベーション会議SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）第1期で開発され、防災科研が試験運用・開発中

1-3 TDPFの注力分野 ~2025年に向けた活動イメージ

- 現時点のフォーカス分野は、WG活動やケーススタディ事業等も活用し、データ利活用事例創出を後押し
- その他分野も、協議会活動を通じてニーズ収集を継続し、選定観点を踏まえつつ拡大を目指す



WG活動の支援強化、ケーススタディ事業を通じ各分野の利活用事例の具体化を推進

2. 推進計画

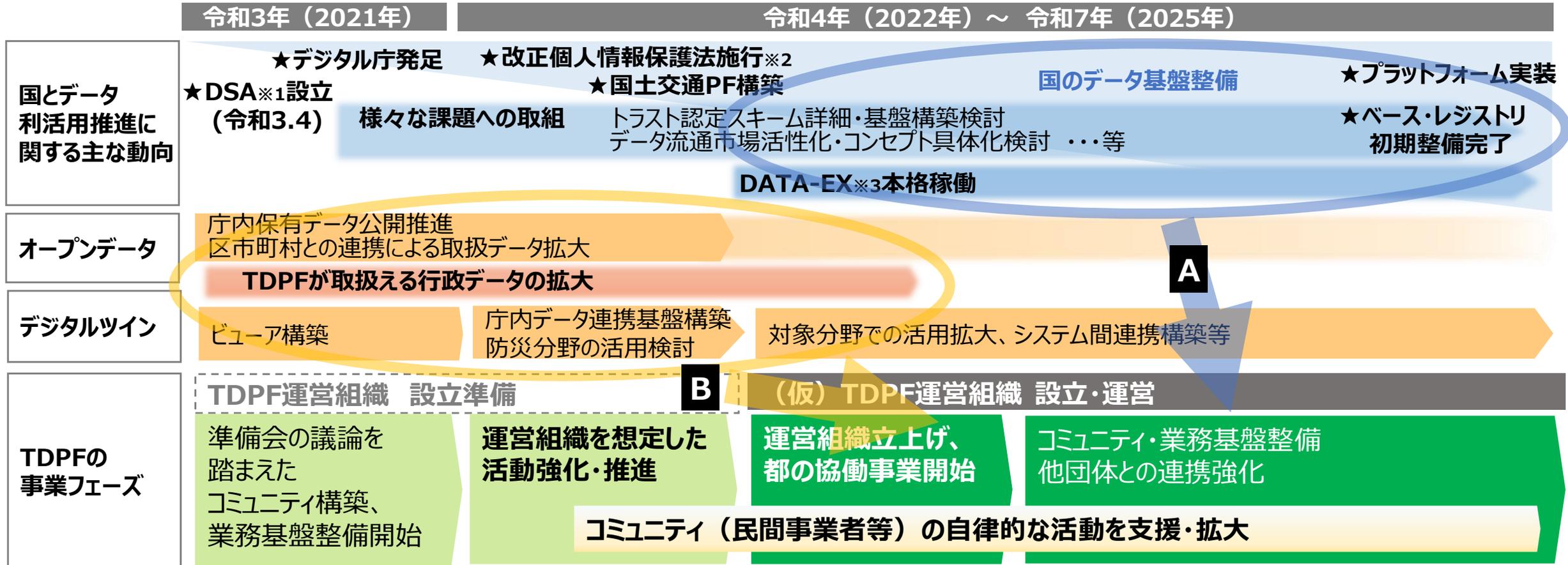
2-1 推進計画概要 ~TDPF事業の目標

TDPFは、データ流通推進事業・データ整備事業の実施や各種取組により、2025年に以下を達成し、社会的課題の解決につながっていることを目指す

- TDPFが、会員主体の**活発なデータ利活用事例創出が行われているコミュニティ**となり、参加者は、国・自治体との連携や産学官交流を通じ、多様な分野で活動し、**社会課題の解決**に貢献できること
- データ整備事業と社会啓発活動により、**社会のデータ整備コストを低減**し、官民がデータ提供しやすい環境を整えていること
- 他自治体・他団体と連携し、**オープン、かつワンストップで多種多様（リアルタイム、条件付等）なデータを取り扱えるデータ連携基盤**を提供できていること
- **データ利活用に関するルール・運営体制を整備**し、TDPF利用者が、**安心して**データ利活用に取り組める環境を提供できていること

2-1 推進計画概要 ~TDPF推進計画の策定方針

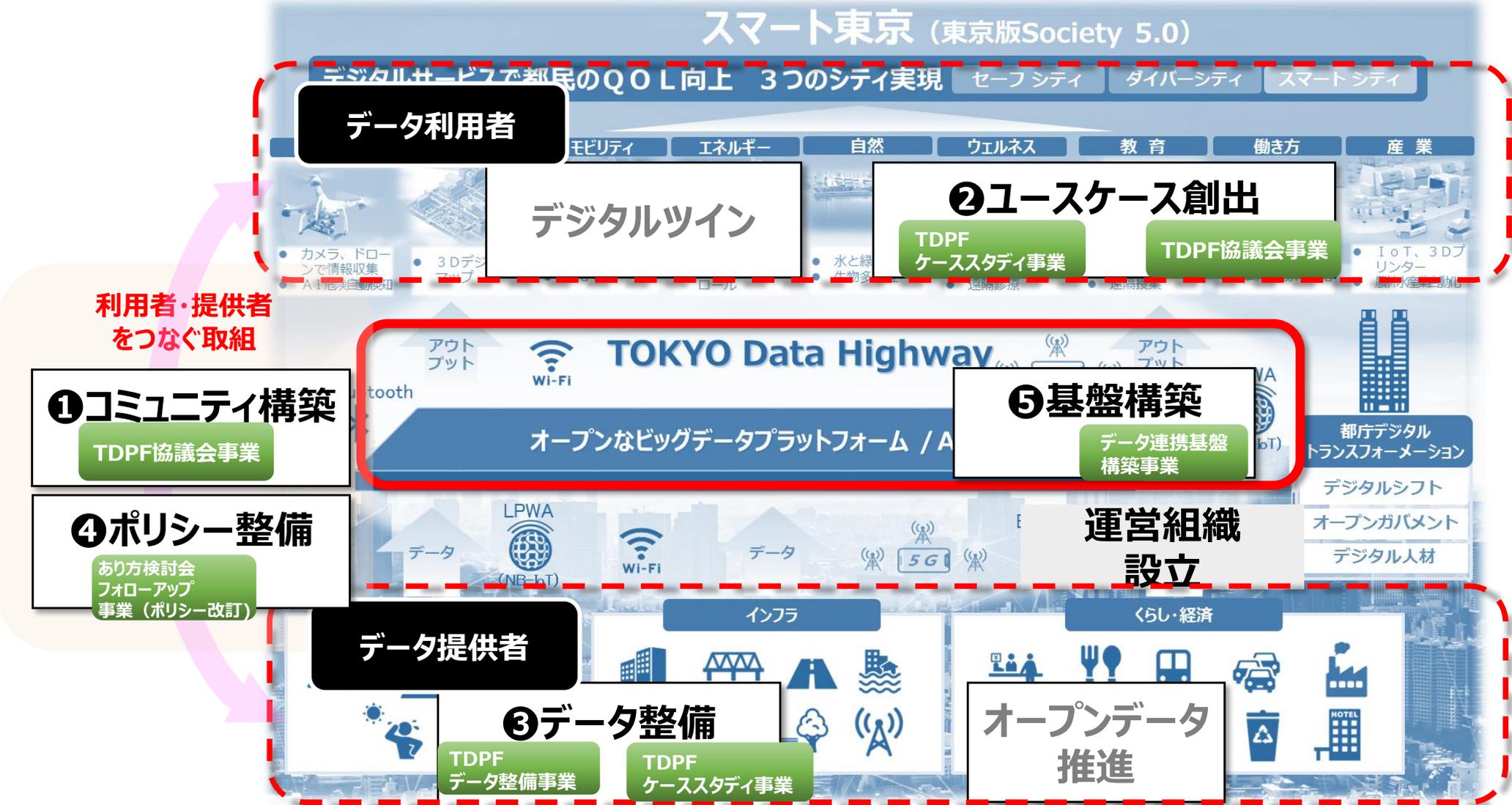
- 国の『デジタル社会の実現に向けた重点計画』では、2025年をターゲットに施策を展開
TDPFも**2025年をターゲット**に、計画後半部分で国と連携・検討結果を取込み、**コミュニティ・業務基盤を整備** **A**
- 関連事業の**オープンデータ推進・デジタルツインを通じ、TDPFの行政データの品揃え拡大**につなげていく **B**



※1 団体名：一般社団法人データ社会推進協議会（英名：Data Society Alliance） ※2 令和3年改正、地方自治体の令和5年5月19日までの政令で定める日に施行 ※3 分野間データ連携プラットフォーム

2-1 推進計画概要 ~「スマート東京」におけるTDPFの役割・各事業位置づけ

TDPFが目指す姿である、スマート東京の実現にはデータプラットフォームの基盤構築に加え、プラットフォーム利用を促す多角的な取組が必要



2-1 推進計画概要（案）

コミュニティ構築・業務基盤整備を、国・他PFとの連携しつつ段階実施

TDPF構築のステップ

	令和3年（2021年）	令和4年（2022年）～ 令和7年（2025年）			
	TDPF運営組織 設立準備	(仮) TDPF運営組織 設立・運営			
	準備会の議論を踏まえたコミュニティ構築、業務基盤整備開始	運営組織を想定した活動強化・推進	運営組織立上げ都の協働事業開始	コミュニティ・業務基盤強化他団体との連携強化	
		コミュニティ（民間事業者等）の自律的な活動を支援・拡大			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 協議会を設立し、コミュニティ構築開始 注力分野を定め、WG活動拡充（防災データ・施設系データ集約新設） データ整備事業検討開始 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の取組強化会員組織化開始 WG活動拡大（3→5、アドバイザー制度等の活動支援強化） 創出されたモデルユースケースを、仮想データ連携基盤のプロトタイプに実装 	<ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤構築、運営組織による各事業スタート データ整備事業開始 アドバイザーリーボード（第三者委員会）設置・運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 他PFとの接続開始 データ連携基盤の取扱いデータ拡充 協議会有償会員制度設計 	<ul style="list-style-type: none"> 他PFとの接続を梃子に国・産学官との連携事例創出 有償データ取扱開始 基盤充実により会員増を目指す

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

- **TDPFの事業計画（案）について**
 - **ビジョン・事業の概要**
 - **推進計画**

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ



第2回WGの開催について

混雑・防災データ・施設系データ集約WGを合同開催し、多くの方々にご参加

名称	第2回混雑ワーキンググループ・防災データワーキンググループ・施設系データ集約ワーキンググループ
日時	令和3年10月20日（水曜日）午後4時から午後7時まで （新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、WEB上で実施）
概要	<ul style="list-style-type: none">■ 混雑WG<ul style="list-style-type: none">➢ 国によるベース・レジストリの検討状況の共有について■ 防災データWG<ul style="list-style-type: none">➢ 公開中の防災データ及び利活用ニーズについて■ 施設系データ集約WG<ul style="list-style-type: none">➢ 西新宿のトイレ施設データを収集するフォーマットについて
参加者	<ul style="list-style-type: none">■ 民間企業(大企業・スタートアップ等)・自治体 等<ul style="list-style-type: none">➢ 混雑WG : 94名➢ 防災データWG : 119名➢ 施設系データ集約WG : 78名

【混雑WG】活動報告・協議事項概要

デジタル庁より国のベース・レジストリの検討状況を共有、意見交換を実施

WGの概要と主な協議事項

1. 国によるベース・レジストリ（※）の検討状況について

詳細右記

2. 意見交換

- ✓ ベース・レジストリの検討を通じて苦労している点や、デジタル庁からWG参加者への逆質問など、活発な意見交換を実施

3. 行政機関あて混雑ソリューションカタログの展開

- ✓ 都庁内で既に複数利用されており、今後は区市町村等、他自治体へ展開予定

※公的機関で登録・公表された、様々な場面で参照される、人、法人、土地、資格等の社会の基本データ

国によるベース・レジストリの検討状況

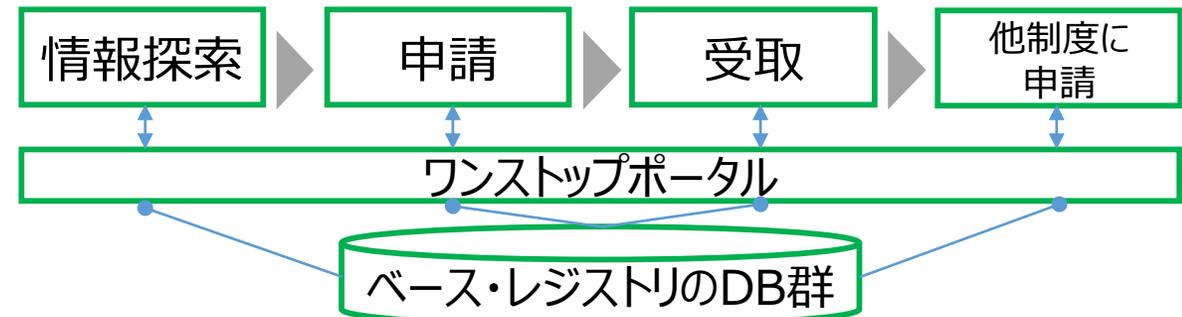
■デジタル庁とベース・レジストリ

- ✓ デジタル化への課題に対応するための重要なテーマの一つとしてベース・レジストリを位置付け
- ✓ ベース・レジストリで扱う分野として土地系、法人系、行政系の3つを指定

■事業所ベース・レジストリの検討状況

- ✓ 当面は飲食店等の情報を収集し、給付金手続きが1週間で完結することなどを目指す

ー実現イメージー



【混雑WG】意見交換・アンケート概要

混雑情報の円滑な流通を図るべく、今後、国の検討フォーカス外の小粒度施設ID整備に向けた課題整理等を進めていく

意見交換

- 「事業所」という言葉が指すものが様々であり、明確な定義がない点に苦労している
- 小さい単位のIDは現時点ではフォーカス外、今後検討する必要がある
- ベース・レジストリが整備されれば、役所全体で重複した作業が低減し、受付・審査等の効率的な手続きが可能になる

アンケート

- データの信頼性・網羅性について今後議論すべき
- データの粒度、IDの付与方法を再整理・検討すべき
- データの更新頻度・時期、粒度は行政主体でルールを提示すべき

今後の 進め方 (予定)

- 国の検討フォーカス外の小粒度施設ID整備に向けた課題整理 等

【防災データWG】活動報告・協議事項概要

利活用ニーズを基に、今後のユースケース創出に向けた検討を推進

第2回WGの概要・協議事項

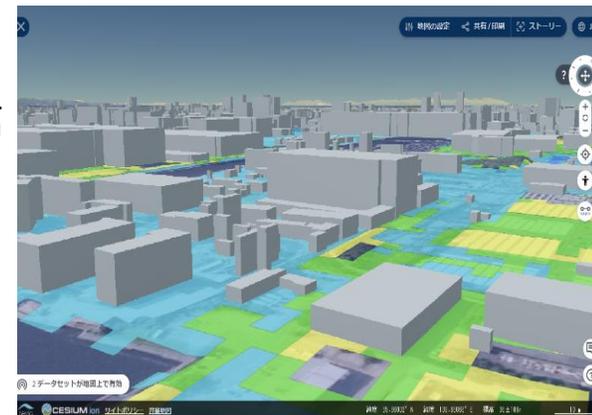
- ✓ **防災データカタログの整備ニーズ**を踏まえ、都で公開している防災データ（主にGIS系）の紹介
- ✓ **東京都災害情報システム（DIS）の概要及び収集データの紹介**
- ✓ **防災データ利活用ニーズ**（第1回WG参加者アンケート）の共有

意見交換

- ✓ **避難所情報**などDISで収集しているデータの利活用について
- ✓ **道路・水道等のインフラ関連情報**やハザードマップ等のデータ利活用について

公開中の防災データ

- ✓ **高潮浸水想定区域図**
- ✓ 震災時火災における避難場所
- ✓ 河川監視カメラリアルタイム配信
- ✓ 東京都防災マップ避難所
- ✓ 地震に関する地域危険度測定調査 地域危険度一覧
- ✓ 給水拠点一覧データ



高潮浸水想定区域図の可視化事例

防災データ利活用ニーズ例

データ種別	データ用途（例）
避難所混雑情報、帰宅困難者受け入れ先、災害時帰宅支援ステーション等	発災時の避難場所や一時滞在施設の状況の案内等（想定）
道路・水道・下水道等のデータ	インフラの被災箇所の把握等
水位情報 (上流域の降雨量等を下流域と連携)	避難行動の誘発要因になる

【防災データWG】意見交換・アンケート概要

今後、ユースケース検討・実装に向けた課題と対応方針を策定する予定

意見交換

- 発災時の**データの信頼性、正確性、更新が担保**されていることが前提
- 都への報告の一環で**DISを使いオープンデータが作れるのが望ましい**（区市町村）
- **具体的なユースケースを設定して課題抽出**など今後継続してやっていきたい

アンケート

- 防災は命を守る行動に直結するため、**誤情報対策（備え）は重要**
- **誰がどうした視座でデータを活用**するのか、もっと議論や検討が必要
- **避難したくなるような情報を適時的確に伝えられる制度**を構築することが最重要

今後の 進め方 (予定)

- **静的データの利活用事例**の創出（各種ハザードマップ等）
- **動的データを活用したユースケースの検討**
（避難所開設や道路・断水などのインフラ情報等）
- ユースケース検討・実装に向けた**課題と対応方針の策定**

【施設系データ集約WG】活動報告・協議事項概要

サンプルのトイレデータ収集結果を元にデータフォーマットを検討。実際のデータ収集に着手

WGの概要と主な協議事項

1. 進捗報告

- ✓ データフォーマット検討方針（右図）
- ✓ データ収集施設の調整状況
ホテルや商業施設など来訪者が多い施設を中心に収集

2. データフォーマット案報告

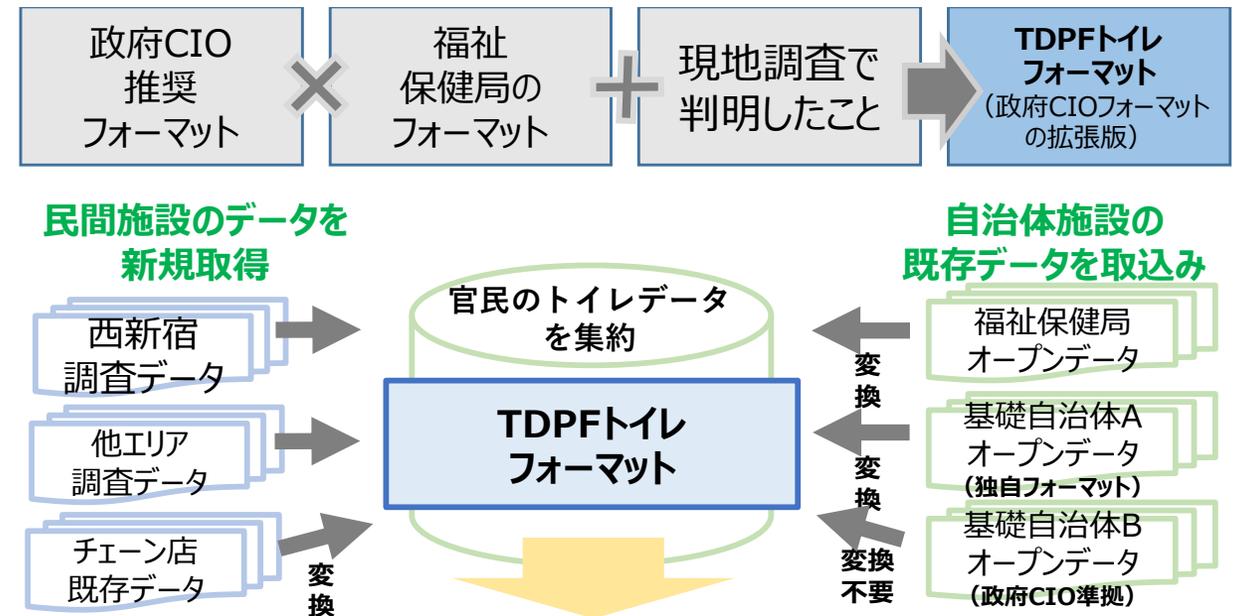
- ✓ サンプルデータ収集から得られた示唆
- ✓ データ項目検討事項とフォーマット案
利用者ニーズとデータ取得・更新の労力を考慮し、検索性が高いものを中心にデータ化

3. 意見交換

データ項目/フォーマット案 等

データフォーマットの検討方針

- 福祉保健局のだけでもトイレオープンデータフォーマット・政府CIO推奨データセットをベースに検討
- 多機能トイレの機能分散の流れなど、直近の動向を踏まえつつ、データ更新のしやすさや、利用者ニーズを考慮する



統一フォーマットで、都内全域のトイレデータを一括提供 54

【施設系データ集約WG】意見交換・アンケート概要

今後、データ活用案や更新ルール等について、検討を進めていく予定

意見交換

- **対象者を絞らないデータ**の方が、シチュエーション別にサービスを切り分け活用できる
- 地図の整備において、**緯度経度に基づくデータ**が必要
- **サービスでどのように活用されるか**を想定し、データを収集すべき

アンケート

- データ提供・収集・加工等の**役割の担い手・立場の整理**ができると良い
- 当該トイレ利用者の**意見を聞くことができる仕組み**があると良い
- トイレ以外の施設系データ集約について、**取組の全体的な枠組み**を検討してほしい

今後の 進め方 (予定)

- データ収集、更新ルールの検討
- データ利用者（サービス事業者）によるデータ活用案の検討
- 次年度に向けた課題整理 等

オンラインセミナー募集

TDPF協議会メンバーから事例紹介をいただくオンラインセミナーを開催

TDPF協議会では、第2回推進会議でご案内のとおり、双方向型の発信と対話を重視する観点から、オンラインセミナーを開催し、皆様による取組を発表していただく機会を設けたいと考えております。募集テーマについてご提案いただける方は、令和3年12月2日（木曜日）午後5時までに申込みフォーム（<https://forms.office.com/r/tFLgtDcs1k>）にてご応募ください。

実施日時

- 令和4年1月下旬予定

募集テーマ

- 施設やインフラ関連データ等、まちづくりに関する官民データ利活用事例の紹介、TDPFへの期待

当日の活動概要

- オンライン開催
- 各社20分程度を想定(3~4社程度)
- 協議会・WG参加者、本事業に関心のある方を対象として開催予定

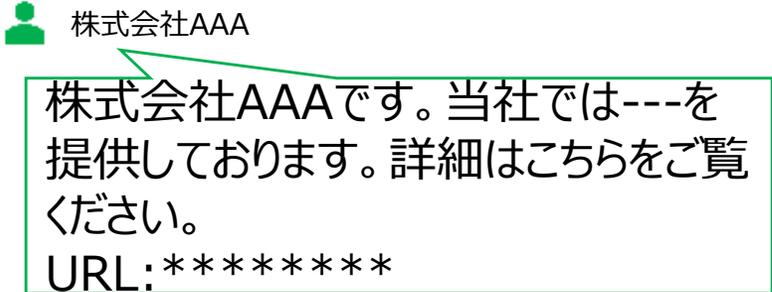
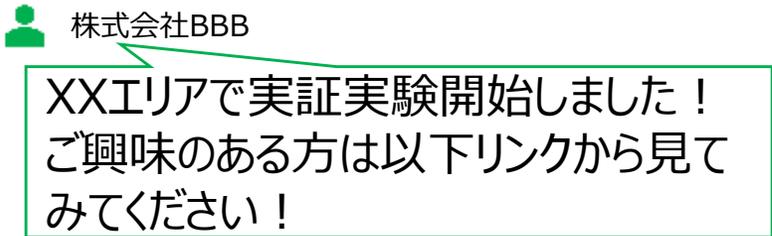
オンラインセミナー 当日までの流れ

- 発表時間や発表内容については、申込みいただいた方と調整・協議の上、最終決定いたします
- 提案者多数の場合は、事務局にて募集テーマを鑑み、調整させていただきます
発表いただけないケースもございますので、ご了承ください

【コミュニティ】Slackの活用状況

Slackにて運用中の「東京データプラットフォーム協議会ワークスペース」を 情報共有、参加者間の交流、意見発信等の場として活用中

ワークスペース詳細

参加人数	■ 253名（11月24日時点）	主な 投稿内容	■ 事務連絡 ■ 情報共有 ■ 自己紹介等、参加者間の交流 ■ イベントの告知 等 (投稿イメージ)  <p>株式会社AAAです。当社では---を提供しております。詳細はこちらをご覧ください。 URL:*****</p>  <p>XXエリアで実証実験開始しました！ ご興味のある方は以下リンクから見てみてください！</p>
チャンネル 一覧	■ 協議会全体チャンネル ■ 雑談チャンネル ■ 自己紹介チャンネル ■ 各WGチャンネル <ul style="list-style-type: none">➢ 混雑WG➢ 防災データWG➢ 施設系データ集約WG ■ デジタルツインチャンネル		
登録方法	■ アンケート内に登録者情報を記入 ■ 以下事務局アドレスからも随時申込み可 tokyo.dpf@tohmatu.co.jp		

【Mentimeter②】Slackの活用方法について

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください

Mentimeterによる回答は、会議でご案内したタイミングでのみ可能です

※全て匿名です)



※または、下記URLへアクセスし
コードを入力してご参加ください

URL : <https://www.menti.com/zdr27pa546>

コード : 8726 5017

A screenshot of the Mentimeter poll entry interface. At the top is the Mentimeter logo, followed by the text 'コードを入力してください'. Below this is a text input field containing the code '12345678'. A blue button with the text '参加する' is centered below the input field. At the bottom of the interface, there is a small note: 'コードは目の前の画面にあります'.

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

令和2年度の取組・令和3年度以降のロードマップ

令和2年度

令和3年度

令和4年度 以降

事業推進PJ

利用者募集

ユースケース 創出

ポリシー 整備・運用

システム 基盤構築

データ整備

関連PJ

準備会

・事業範囲、WGの検討

WGの設置

・民間事業者等と議論

データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る
ポリシー案1.0策定

3Dビジュアライゼーション

・3Dモデル検証

令和3年度

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

協議会

・事業内容、事業計画(案)等の検討
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

デジタルツイン実現プロジェクト

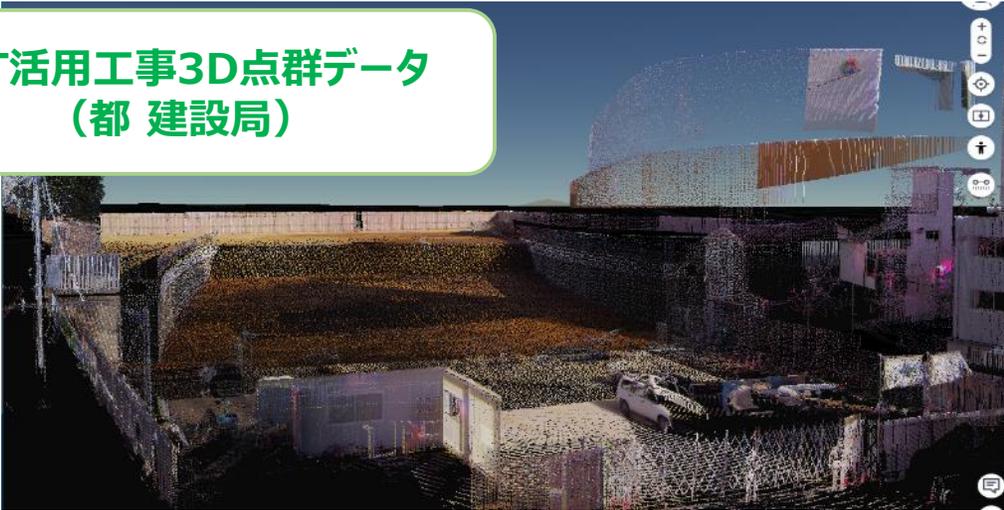
・都市のデジタルツイン実現に向けた検討を実施

TDPF 運営組織 設立

【デジタルツイン実現プロジェクト】3Dビューアのデータ可視化（例）

利用者視点で、組織の壁を越えたデータ可視化・利活用を推進

ICT活用工事3D点群データ
(都 建設局)



高潮浸水想定区域図
(都 港湾局)



区市町村データとして
初

河川ライブカメラ 5台
(杉並区)



国交省 国土数値情報
河川データとの重畳
ライブカメラ 93台



【デジタルツイン実現プロジェクト】実証概要

実証01:地下空間も含めたリアルタイム人流可視化



実施エリア

大丸有エリア

- **リアルタイム人流予測データ**を活用し、混雑度を可視化することで、混雑回避を促すことができるか検証
- IoTセンサーを用いて**地下の人流データを把握**し、混雑状況の表示方法を検討
- 災害発生時に多くの帰宅困難者が発生するエリアにおいて、**避難経路等を予め確認する効果を検証**
- 発災時において、通信が制限されている状況でも、官民の災害時対応情報を活用し、人々の効率的な避難を促すことができるか確認

Webアプリのご利用、
アンケートにご協力をお願いします

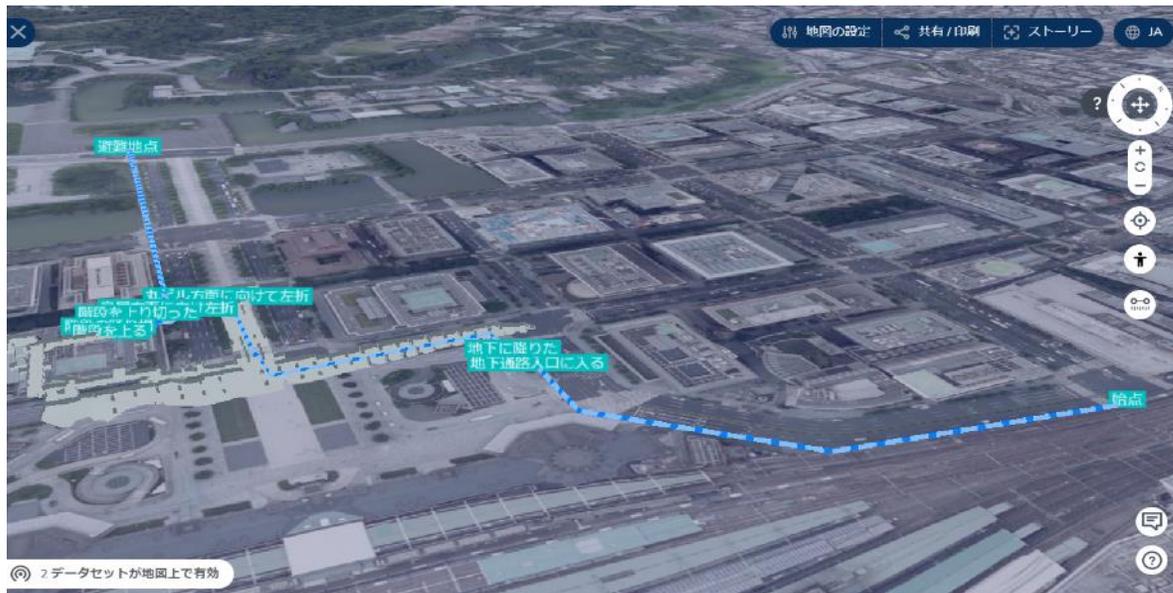


【デジタルツイン実現プロジェクト】実証概要

PC: 3Dで避難経路をあらかじめ確認しておく効果を検証
スマホ: オフラインでも確認できる災害情報を表示

3Dビューアで表示 (PC)

- 避難経路についてはエリマネ団体・千代田区等関係者に確認したうえで表示
- 災害対策マインドの啓発効果をアンケート結果により検証



経路案内アプリ上で表示 (スマホ)



災害時：通信制限下を想定した災害情報の表示

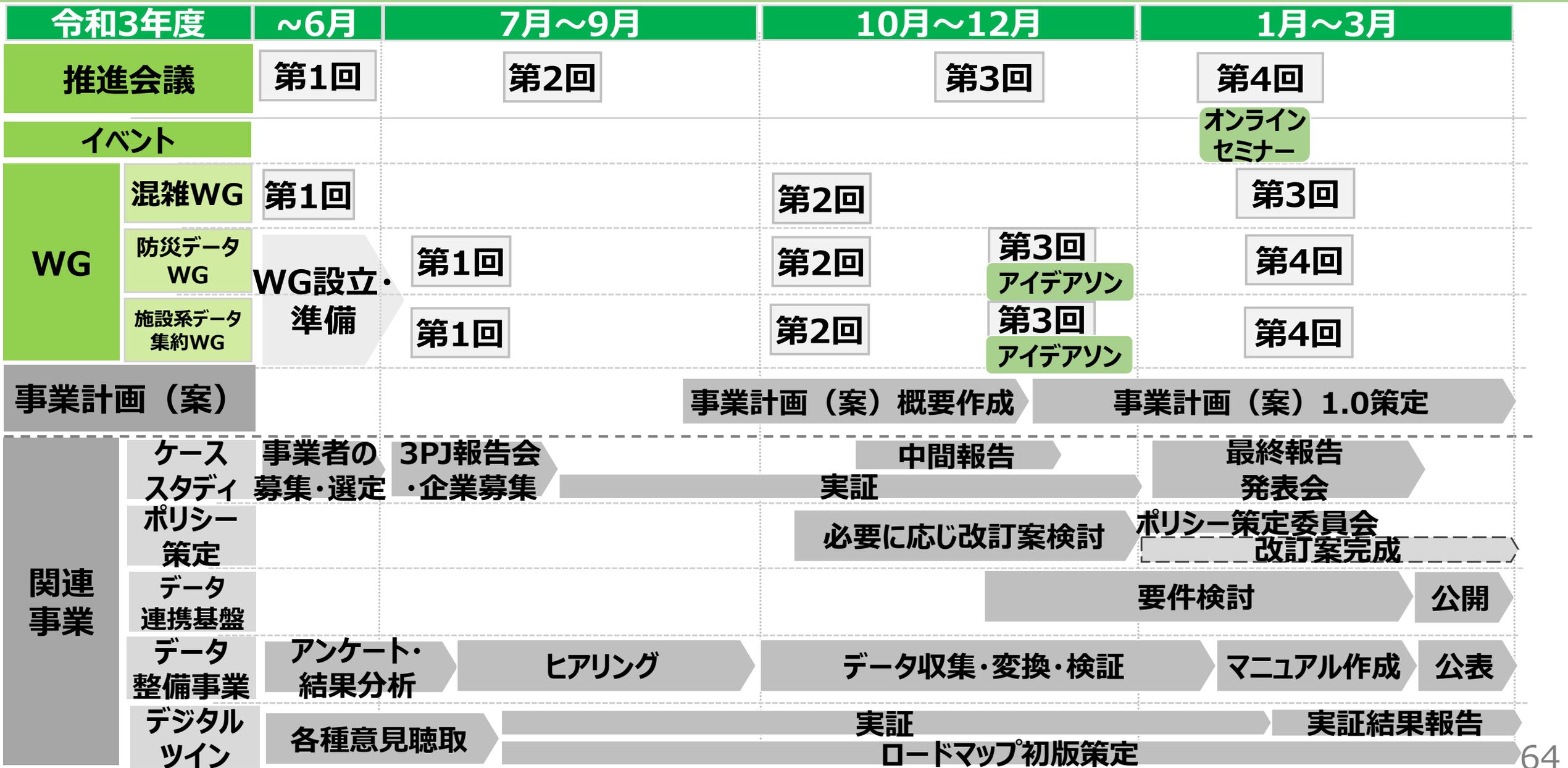
オフライン環境でも「災害情報を集約したビジョンの場所」と「千代田区災害時退避場所」を表示

表示する災害対応情報

 : 千代田区
災害時退避場所

 : 丸の内ビジョン設置場所
(災害時でも公共放送可能なエリア情報ディスプレイ)

全体スケジュール（案）



本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

10. 閉会の挨拶

東京都 デジタルサービス局長 寺崎 久明

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第2回推進会議の振り返り
3. 令和3年度事業の取組内容・方針①
4. 庄司委員からの発表
5. 意見交換①
6. TDPFの事業計画（案）
7. 意見交換②
8. TDPF協議会の取組内容
9. 令和3年度事業の取組内容・方針②
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

今後の予定について

- **第4回推進会議：令和4年1月下旬開催予定**
- **WG**
 - **防災データWG：令和3年12月14日（火曜日）**
（アイデアソンも同日及び追加日程にて開催予定）
 - **施設系データ集約WG：令和3年12月6日（月曜日）**
（アイデアソンも同日開催予定）
 - **混雑WG：令和4年1-2月予定**
- **オンラインセミナー：令和4年1月下旬**
- **第3回 東京都における「都市のデジタルツイン」社会実装に向けた検討会：**
令和3年11月29日（月曜日）

- **本会議終了後、アンケートを送付します。ご協力お願いいたします。**
【今後のTDPF事業の参考とさせていただきます】
- **本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。皆様のご参加お待ちしております。**

今後の
予定

事務
連絡

都知事杯オープンデータ・ハッカソンの開催

都のオープンデータを活用して行政課題の解決に向けた デジタルサービスの提案を行う大会を開催



【開催期間】

令和3年12月中旬から令和4年1月下旬まで

【募集期間】

募集中・～12月8日(水)まで

【募集対象】

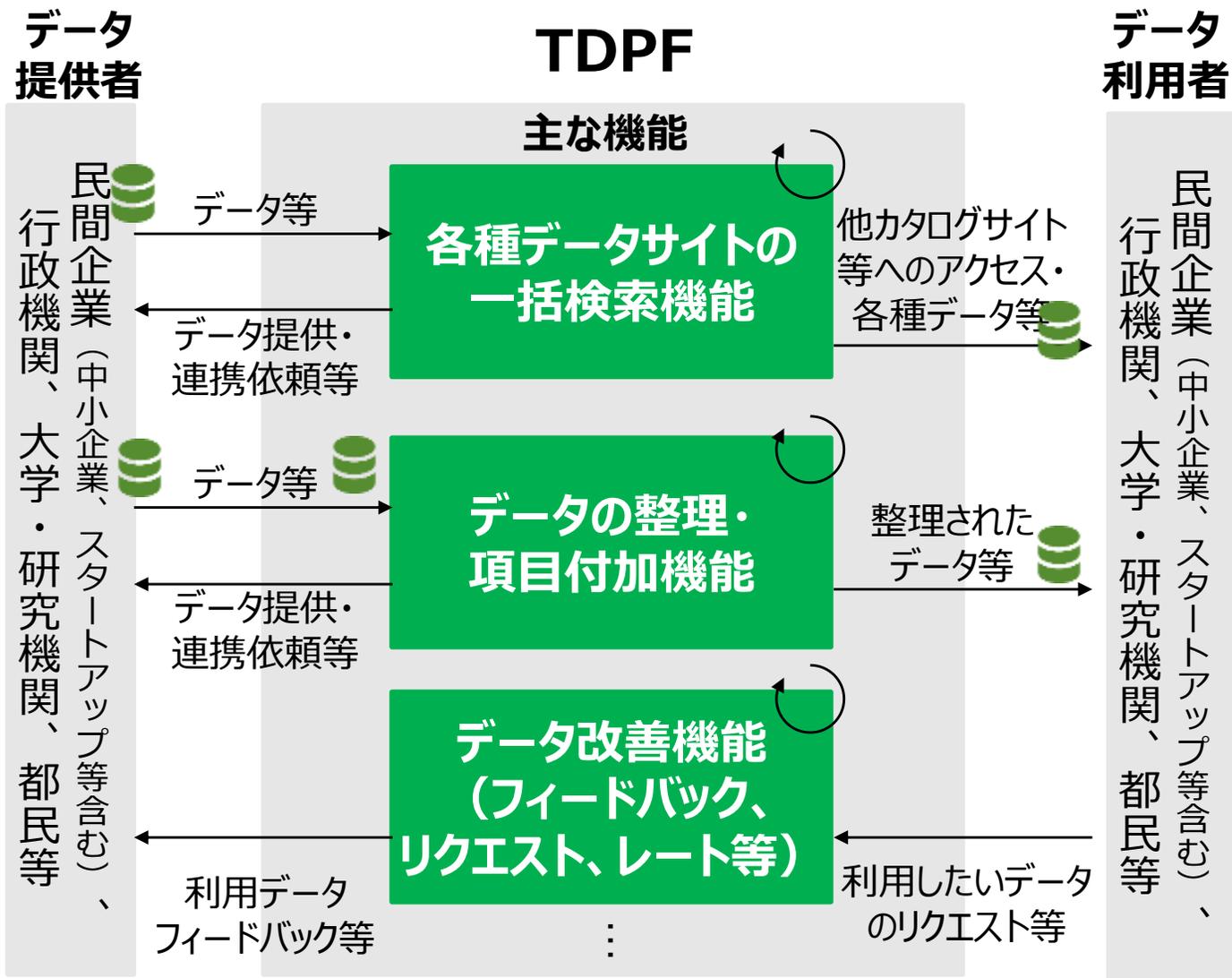
都のオープンデータを活用し、行政課題の解決に向けたサービスやシステム、アプリケーションなどを開発する個人又は団体

Appendix

TDPF事業計画（案）概要

3. 個別事業

官民の各種データを一元的に検索・利用可能な基盤を提供

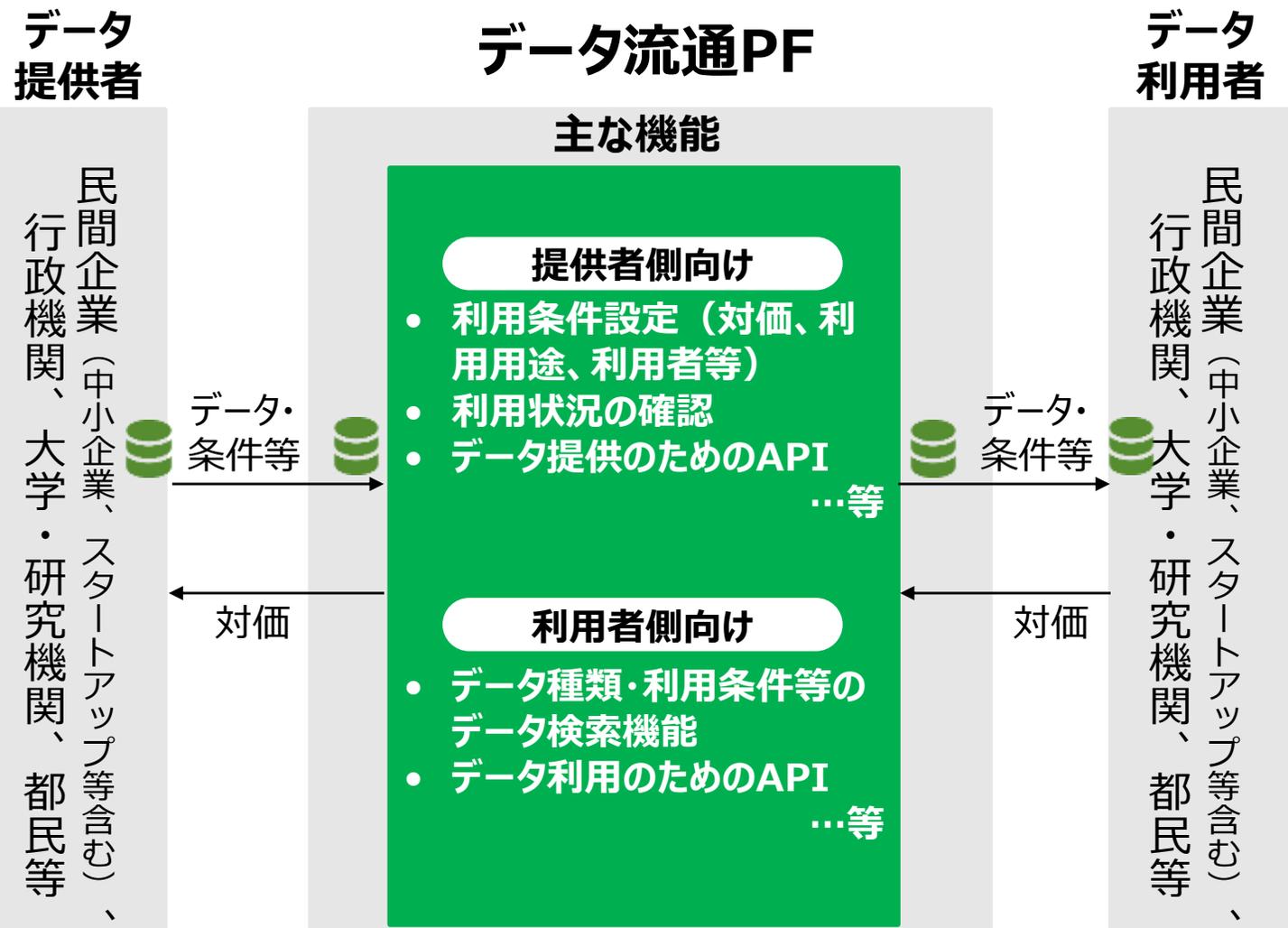


各機能の概要（想定）

- 都、区市町村、国、公的機関、民間のオープンデータを一括検索・アクセスする機能を提供
- データ提供者が個別に提供しているデータについて、検索性・利便性を高めるため、再分類や、データ項目（メタデータ等）の付加（段階的）
- 継続的にデータ改善をできるように利用者ニーズやログ、データレート※等のフィードバック機能
※データの機械判読性の可視化

先行的なユースケースを定めたいうて、詳細設計に入る

利用条件付きデータなどの流通を促進する基盤を提供

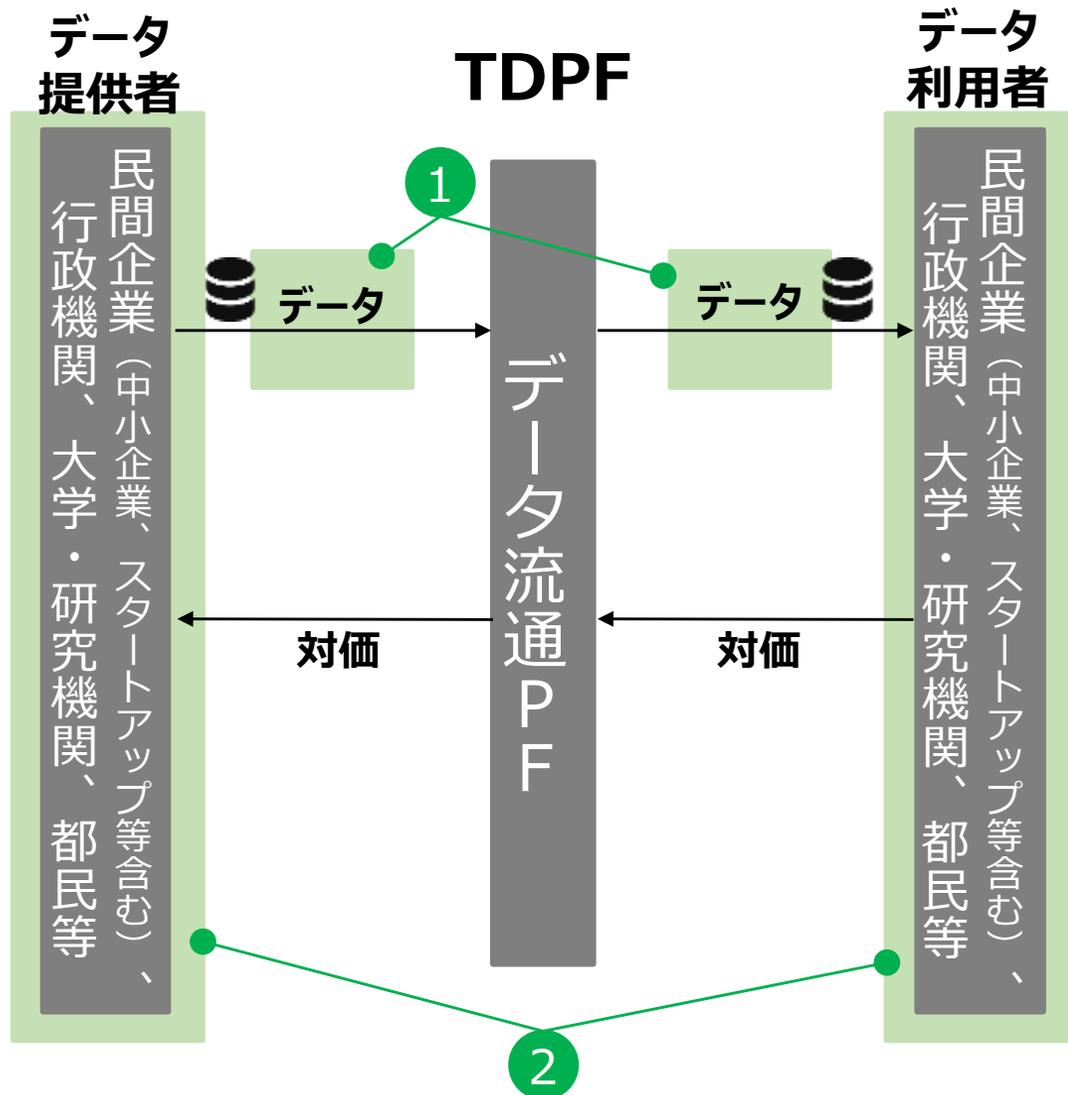


ポイント

- 取引量が少ない場合は、相対取引で対応可能
- 取引量の増加や条件を定めた取引約定が必要となった段階で左図プラットフォームへ
- その際、データ提供条件のルール化、取引ルール等の整備を行ったうえで基盤構築を進める
 - データ利用の対価、利用目的等

先行的なユースケースを定めたいうえで、詳細設計に入る

流通を促すために必要な信頼性向上施策を検討



① データに対するトラスト（信頼）

- 流通するデータ自体への信頼性向上に向け取り組む

➡信頼性を高めるために、**TDPFとして一定程度関与**

➡**データレート等※のフィードバック機能**を検討

※データの機械判読性の可視化

詳細は次頁

② 参加者に対するトラスト（信頼）

- 参加者（データ提供者・利用者）への信頼性の向上
- 相互に信頼に足るデータ提供者・利用者が参加することを目指した取組や仕組みを想定

➡参加しやすさを重視し、**必要最小限の取組を実施**

データの信頼性の向上に係る取組を検討

現在検討中のTDPFの取組 (案)

データ品質

- データのアップロード時に、以下の項目を満たしていることを提供者に確認・表明してもらい、各種リスクを予防
 - 個人情報と混在していないこと、データ取得元から同意取得済みであること、データ提供者にてデータにアノテーション※1等を加えている場合はそれが適切であることなど

データ提供の継続性

- データの提供停止に係る決定は「データ提供者」が実施。利用者に配慮し、停止の一定期間前の事前告知をルールとすることを検討
- ただし、提供者のアカウント停止時には、TDPFが停止を判断・決定

二次利用※2データの扱い

- 安心して利用してもらえるように、二次利用データ等に関するルールを整理
 - オープンデータの場合は、基本的に二次利用データ作成者に権利帰属
 - オープンデータ以外の場合は、提供者側が提供条件を提示

上記取組の実効性を高めるため、業務運用面でも以下のような対応を検討していく

- データ自体の確認、利用状況のアンケート・ヒアリングなど、上記が正しく実施されているかのチェック
- アカウント停止など、上記が正しく実施されていない場合の措置
(ニーズを踏まえながら、チェックの対象や実施頻度、実施方法、措置の内容等具体化)

※1:特定データに対して、データのタイトル等のそのデータについての情報等（メタデータ）を付与すること

※2:あるデータを複製、改変等を行った上で利用すること

TDPFの活用事例の創出・周知、利用者のニーズ把握等を目的にイベントを開催

目的

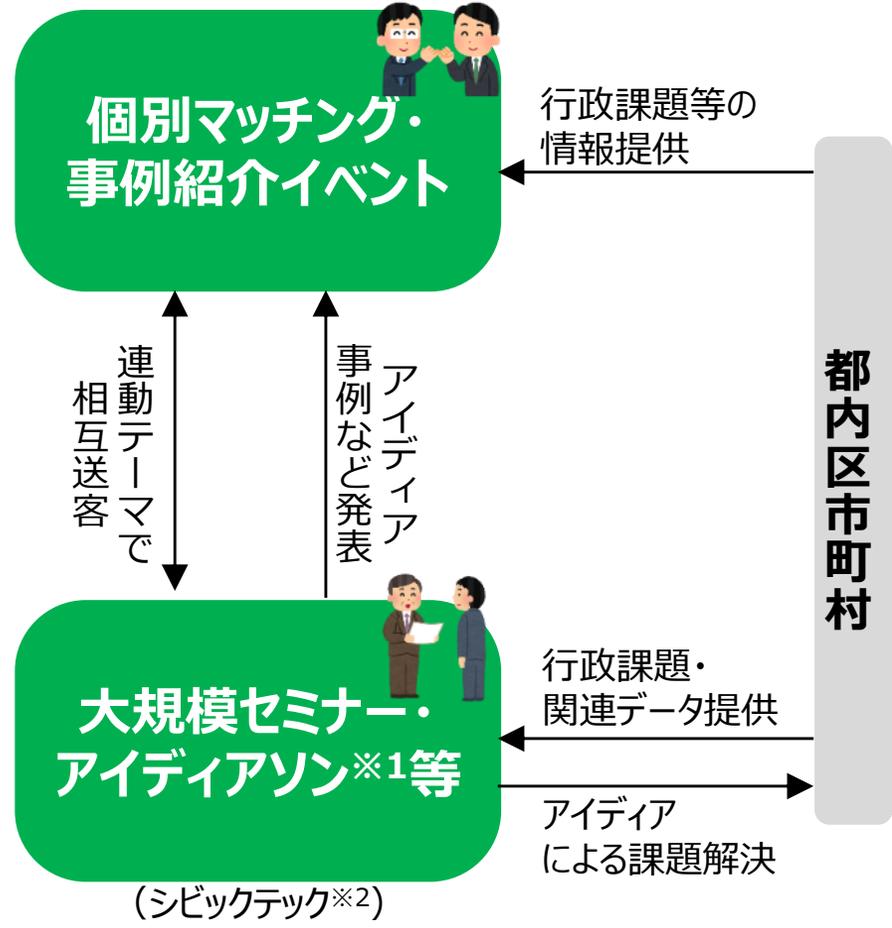
利用者数を増やし、
市場の魅力度を高める

TDPF利活用の事例創出・周知
コミュニティ参加者数の増大

参加のインセンティブ強化
(他の主体との関係性強化、
自社サービスの広報等)

データカタログ充実に向けた
利用者ニーズ把握

事業概要



- 定期開催のイベントで、
 - TDPFの活用事例紹介
 - 売りたい・欲しいデータの相互発表
 - アイディアソン等の優秀な結果・事例発表
 - 都の実証事業の結果報告…等

- 定期開催のイベントで、
 - TDPFのデータを使ったアイデアソン等の実施
 - 大規模セミナーによる認知度向上・コミュニティ集客
 - 自治体等課題の解決…等

※1:特定のテーマについて、様々な主体が集まり新たなアイデア創出などを短期間で行うイベント

※2:市民がテクノロジーを活用して、地域の課題解決を目指す取組

データ整備支援事業の手法などについて具体化を進める

- データはオイルだと言うが、中間加工の産業が沢山あってこそその石油産業。中間部分が重要で、支援的な側面を担うことをしている組織や企業を仲間に加えることが大事ではないか
- データ整備が事業に入っているのは重要。いかにうまくクレンジングするか、整理するかなどが意外と大変でコストがかかる
- クレンジングは手がかかるのでどうするか検討は必要
- みんなで使えるような形でツール開発みたいなものができるといい

- まずは、都内自治体が保有するデータ内容や状態について実態把握が必要
 - DPFが自治体等のデータ整備を進める上で、中間加工プレイヤーと協働していくことが重要
- ⇒今年度以降上記の実態調査と整備の技術的手法、それを踏まえ実施スキームを検討

設置初期

- 都内自治体のデータ整備支援から開始
 - (例) PDFや紙媒体等で保有しているバリアフリーや災害関連の情報等について、一定程度形式を揃えた上で、機械判読可能な形式への整備
- 段階的にWGでデータ整備の要望があった公益性の高いデータなどへ拡充

将来

- 中間加工プレイヤーが集まり、データ整備ニーズのある団体とマッチングするなど協働の仕組みづくり
- データ加工のツール開発などの支援
- (直営で行うデータ整備支援)

準備会での
ご意見

ご意見を踏
まえた事業の
前提

TDPFの
事業イメージ

4. 会員制度／利用条件

4-1 会員制度 ～基本的な考え方

TDPFのコンセプト(案)：会員間と運営者が一体となって作り上げるコミュニティ

会員設計案概要

- **対象会員は、自治体、法人、個人を想定**

- 従来のオープンデータカタログサイトと異なり、会員登録を原則とする設計
ただし、カタログ閲覧や、他自治体オープンデータサイトへリンクは非会員でも利用可能とする
- 無料会員、有料会員と利用する内容によって柔軟に選択可能
- その他、将来の課金（都度/月額/年間一括等）を想定した設計

- **会員分析やリクエスト等の双方向な設計**

- ログイン機能により会員に自身の取引履歴の提供を行い、運営者は利用実績や分析・還元、取引・課金管理に活用
- 利用者から提供者へのデータリクエストや、コメント/コミュニティ機能等の利用者間で利用方法を紹介しあうような双方向を前提とした設計

今後の検討事項

- **コスト負担**

- 会費、データ取引手数料等のコスト負担は、TDPF運営組織として事業収支が試算可能になった段階で検討・決定

- **会員メリット向上施策**

- サイト利用だけではない、会員メリット向上施策（ネットワーキング等）・・・等

5. ポリシー

5-1 ポリシー諸規定「ポリシー案1.0」の概要

昨年度準備会での議論や実証プロジェクト等の取組に基づいて、「ポリシー案1.0」を策定

昨年度の策定範囲

準備会や 実証 プロジェクト等

「ポリシー策定委員会」からの提言も踏まえながら「準備会」、「WG」を通じて事業概要の大枠を策定

- TDPF事業におけるプリンシプル
- 事業概要（データ流通推進・データ整備）
- 取り扱いデータ範囲
- トラストアンカー※型での実施

ポリシーから必要に応じて提言  準備会決定事項を共有

ポリシー

準備会や実証プロジェクトでの検討内容に基づいた「ポリシー案1.0」を策定

- プライバシーステートメントでの対象情報をパーソナルデータとし、対象者をデータ提供者・利用者及びデータ主体と規定 **法令契約**
- トラストアンカー型で実施をしていく際に必要となる、データ提供時・利用時の基本的なルールを規定 **法令契約**
- TDPFがデータ整備の委託を請け負った場合に関する基本的なルールを規定 等 **法令契約技術**

ポリシー案1.0の構成

官民連携データプラットフォーム
データガバナンス指針

- パーソナルデータ保護とサイバーセキュリティ確保に加え、積極的なデータ利活用のために運営組織が取り組むこと等を規定

官民連携データプラットフォーム
プライバシー
ステートメント

- 対象とする情報(パーソナルデータ)、対象者(データ提供者・利用者及び個人)を定め、原則オプトアウトでのパーソナルデータの第三者提供をしない方針等を規定

官民連携データプラットフォーム
コンプライアンス指針

- 各種の関係法令の遵守、運営組織の透明性を保つための体制の確立、データプラットフォームに係るコンプライアンス研修の運営組織内で実施等を規定

官民連携データプラットフォーム
規約

- サービス利用に関する入退会の基本内容及びデータ提供時・利用時の基本的なルール等を規定

官民連携データプラットフォーム
情報セキュリティ
ポリシー

- 東京都サイバーセキュリティ基本方針に準じ、データプラットフォーム事業者としてデータ流通時に留意する対策・最新のセキュリティに対する情報収集をしていくこと等を規定

※個人、法人、機器などのサイバー空間の存在（ID）の認証（審査・登録・発行・管理など）を担う機能のこと
官民連携データプラットフォームでは、TDPFがデータ提供者とデータ利用者を審査することや、データの管理をすることなどによって、トラストを担保し、保証すること

事業内容詳細・組織体制等の検討状況を踏まえ、必要に応じて改訂を実施

昨年度(ポリシー案1.0)

今年度以降

TDPF
事業検討

「ポリシー策定委員会」からの提言も踏まえながら「準備会」、「WG」を通じて事業概要の大枠を策定

「協議会」「ケーススタディ事業」「行政データ整備」等を通じて事業内容・組織体制等の詳細を策定

- TDPF事業計画(案)・内容詳細策定
- データ連携基盤構築事業の要件定義のとりまとめ
- 都内区市町村のデータ加工作業
- ユースケースの具体化

ポリシーから必要に応じて提言 → 準備会決定事項を共有

↓ 検討結果等を共有

ポリシー

準備会や実証プロジェクトでの検討内容に基づいた「ポリシー案1.0」を策定

事業内容詳細・組織体制等に基づき必要に応じて改定

- 事業内容詳細・ユースケースの具体化に伴い修正・追加が必要となる条項案の改訂
(例)
パーソナルデータの利用目的詳細化、データ提供者・利用者に求める事項やTDPFが関与する範囲の詳細化、責任・免責・罰則の詳細化 等

※個人、法人、機器などのサイバー空間の存在 (ID) の認証 (審査・登録・発行・管理など) を担う機能のこと
東京データプラットフォームでは、TDPFがデータ提供者とデータ利用者を審査することや、データの管理をすることなどによって、トラストを担保し、保証すること

5-2 アドバイザリーボード（第三者委員会）～位置づけ(案)

TDPFは公共的な事業を運営するため、データ提供者・利用者及びデータ主体に対して透明性・公平性を示すことが望ましい。そのため助言機能を持つ、独立したアドバイザリーボード（第三者委員会）から提言を受け、運営状況を公表する

概要

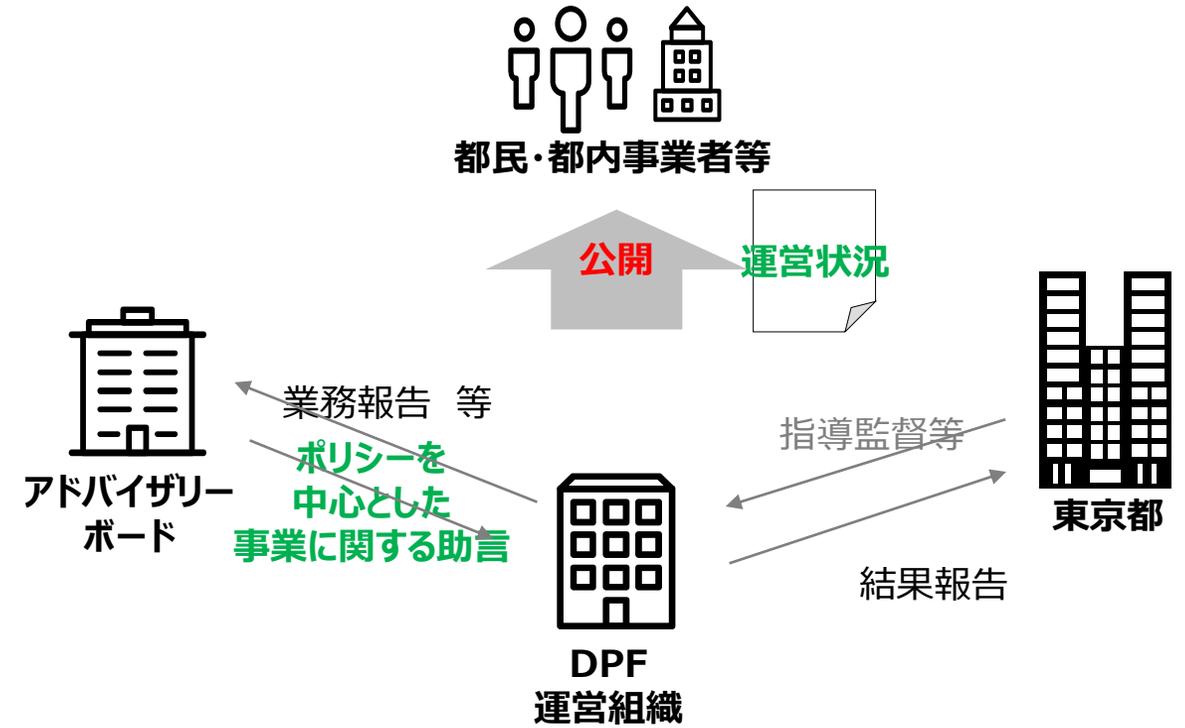
TDPF運営組織・東京都・アドバイザリーボード（第三者委員会）の関係

設置
目的

アドバイザリーボードによる定期的なモニタリングを受け、結果を公表することで、**TDPF運営組織の透明性を明示**するため

設置
理由

- TDPFは東京都との関連がある団体であるため、東京都からの指導監督が基本
- しかし、**東京都がデータ提供者・利用者の立場にもなる**こと、またデータ提供者・利用者やデータ主体への説明の透明性のため、**第三者による客観的な視点を持った提言が必要**。よって、**TDPF運営組織に助言機能を持つ、アドバイザリーボード（第三者委員会）を設置**



➡令和3年度以降の協議会での検討事項や組織体制が確立した後に、役割・実施事項の再検討を要する

6. システムアーキテクチャ

3つのコンセプトのもと要件を検討

TDPF運営組織設立後の速やかなサービス提供につなげる

コンセプト

大きなデータベースは作らない

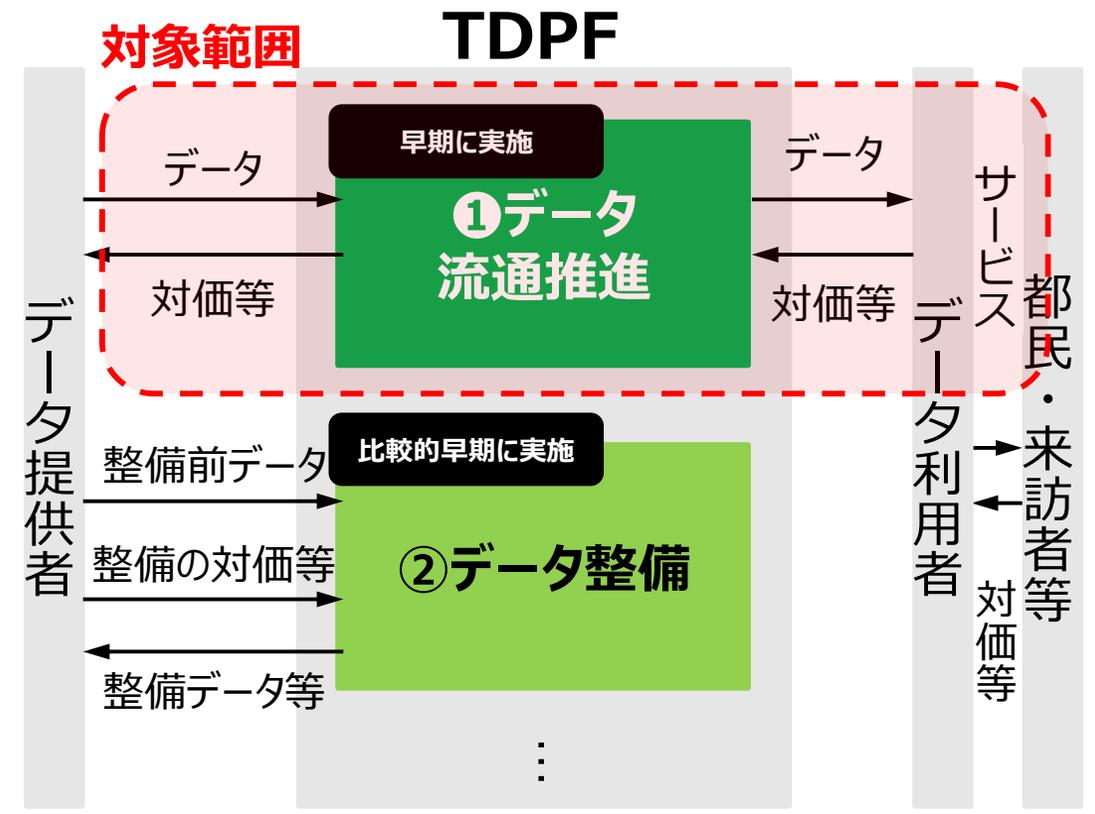
- ・データを貯めるのではなく、流通させる連携基盤
- ・国や関連団体と同期、他PFとの相互運用性の確保

リーンスタートと拡張性

- ・早計に最終形を定義せず、必要な機能からスタート
- ・マイクロサービスアーキテクチャ※で構成
(※ 小さな独立した部品の集まり)

トラストの確保

- ・データのトラストと利用者のトラストに対して連携基盤が果たすべき役割の見極め



7. 組織及び運営方針

8. 収支計画

※ 現段階では、持続可能な運営に必要な最低限の収益を確保していく考え方のみ呈示

持続可能な運営に必要な最低限の収益を確保していく

想定される収入概要

個別サービス利用料

個別利用者にサービス利用料として負担いただく

データ
利用料

イベント
参加料

データ整備
委託料

...

各事業の一定のコストが生じるため、
受益者負担の考え方をベースに検討

共通的な会費

各会員にコミュニティ運営費用として負担いただく

会費

想定される支出概要

事業推進

1. データライブラリ

2. データ流通PF

3. ネットワーキング

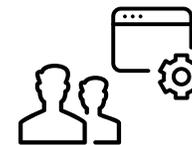
4. データ整備支援

各事業で生じる支出項目 (変動費が中心)

- データ対価
- イベント開催費
- データ整備事業費

...等

組織運営



事業横断で生じる支出項目 (固定費が中心)

- 組織人件費
- Webサイト運営費用
- 会員管理費用

...等

各事業の検討進捗や費用構造も踏まえ、会費と個別サービス利用料の組み合わせによる収入確保を検討